

# 北陸地域における地場産野菜の供給量

ごく僅か (10%以下↓)		少ない (10~20%)		やや少ない (20~30%)		普通 (30%以上↑)	
ばれいしょ	3%	ミニトマト	14%	きゅうり	21%	だいこん	36%
たまねぎ	8%	ほうれんそう	15%	トマト	26%	ねぎ	49%
		キャベツ	11%	にんじん	21%	さといも	87%

## 北陸地域への主要野菜移入量(高収益作物としての出口考察) (未定稿)

品名	全国と北陸出荷の対比			北陸域内市場での域内・域外出荷の対比				他県産シェア (上位3県)	北陸管内から各地域出荷事例	注目ポイント
	全国市場での 取扱数量	北陸域内(4 県)からの出 荷数量	シェア	北陸域内市場で の取扱数量	北陸域内(4 県)からの入 荷数量	シェア	域外からの入 荷数量			
(露地系)										
たまねぎ	867,464	4,052	0%	20,083	1,511	8%	18,572	92%	①北海道(14,655ト/73%) ②兵庫県(1,650ト/8%) ③愛知県(897ト/4%) 富山県(2,640ト)→ ①北陸(833ト/32%),②関東(760ト/29%), ③東海(667ト/25%) 新潟県(641ト)→ ①北陸(481ト/75%),②関東(157ト/24%)	富山県産たまねぎは、域内出荷(833ト)より高価格の関東、東海を重視。
単価(Kg/円)		109		反収(Kg/10a)	5,320					
にんじん	430,723	2,511	1%	9,384	1,962	21%	7,422	79%	①北海道(2,620ト/28%) ②徳島県(1,942ト/21%) ③愛知県(888ト/9%) 新潟県(1,382ト)→①北陸(863ト/62%),②関東(502ト/36%) 富山県(541ト)→①北陸(514ト/95%),②東海(21ト/4%)	たまねぎより域内出荷を重視。
単価(Kg/円)		116		反収(Kg/10a)	3,490					
ねぎ	179,597	4,196	2%	3,535	1,748	49%	1,787	51%	①大分県(494ト/14%) ②茨城県(404ト/11%) ③埼玉県(269ト/8%) 新潟県(2,270ト)→①関東(1,269ト/56%),②北陸(926ト/41%) 富山県(879ト)→①東海(609ト/69%),②北陸(233ト/27%) 福井県(746ト)→①北陸(378ト/51%),②近畿(208ト/28%),③東海(160ト/21%)	北陸3県ともに高価格の関東、東海、近畿を優先し、残りを域内出荷(域内出荷率がかなり高い)。
単価(Kg/円)		397		反収(Kg/10a)	2,010					
だいこん	580,335	10,302	2%	11,150	4,003	36%	7,147	64%	①千葉県(3,432ト/31%) ②北海道(1,400ト/13%) ③青森県(683ト/6%) 石川県(5,601ト)→ ①近畿(4,206ト/75%),②北陸(1,296ト/23%), ③東海(75ト/1%) 新潟県(3,314ト)→ ①北陸(1,664ト/50%),②近畿(958ト/29%),③東海(438ト/13%)	石川県産は、域内出荷(1,296ト)より高価格の近畿を重視。域内より16円高。
単価(Kg/円)		94		反収(Kg/10a)	4,210					
キャベツ	937,605	3,228	0%	17,089	1,861	11%	15,228	89%	①愛知県(7,592ト/44%) ②群馬県(4,347ト/25%) ③神奈川県(960ト/6%) 新潟県(1,257ト)→①北陸(1,208ト/96%),②関東(49ト/4%) 石川県(758ト)→①北陸(325ト/43%),②近畿(219ト/29%),東海(161ト/21%)	ほとんどが域内出荷。
単価(Kg/円)		82		反収(Kg/10a)	4,220					
ばれいしょ	389,555	413	0%	8,459	273	3%	8,186	97%	①北海道(4,131ト/49%) ②長崎県(2,169ト/26%) ③鹿児島県(1,787ト/21%) 新潟県(210ト)→①北陸(144ト/69%),②関東(65ト/31%) 富山県(135ト)→①北陸(66ト/49%),②近畿(62ト/46%)	ほとんどが域内出荷。
単価(Kg/円)		229		反収(Kg/10a)	3,070					
さといも	30,688	2,099	7%	1,145	995	87%	150	13%	①宮崎県(76ト/7%) ②愛媛県(40ト/3%) ③大阪府(11ト/1%) 新潟県(1,233ト)→①北陸(465ト/38%),②東北(374ト/30%),③関東(354ト/29%) 福井県(590ト)→①北陸(291ト/49%),②東海(148ト/25%),③近畿(98ト/17%)	ほとんどが域内出荷。
単価(Kg/円)		320		反収(Kg/10a)	1300					

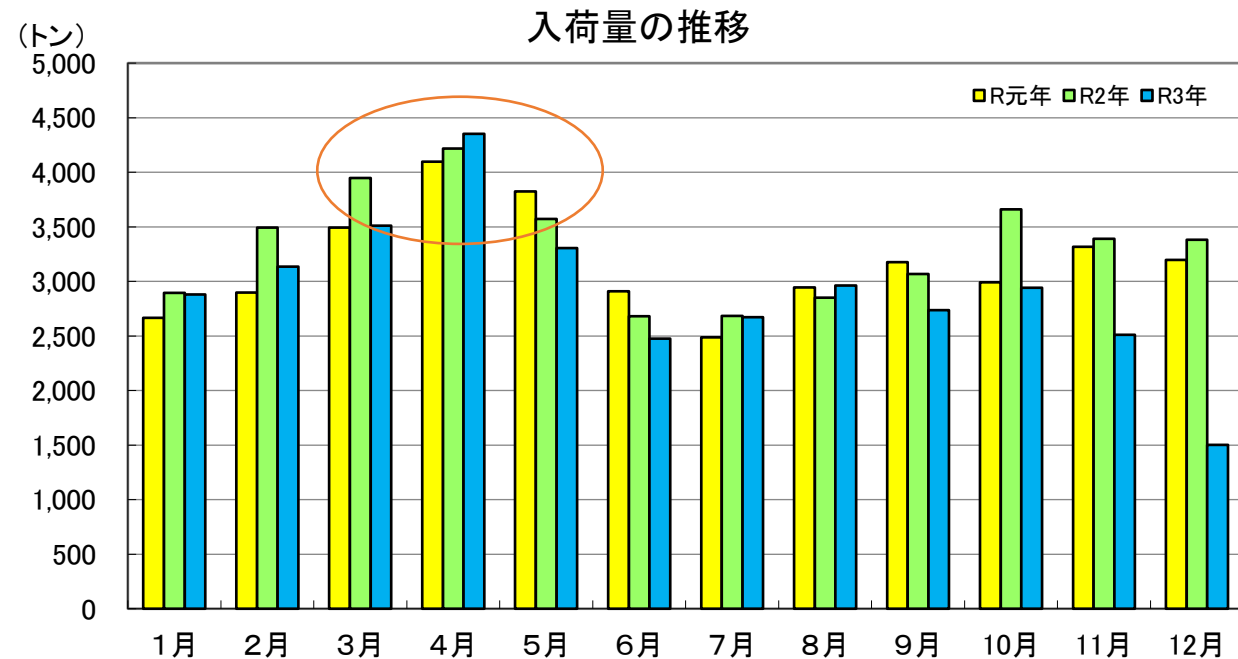
品名	全国と北陸出荷の対比			北陸域内市場での域内・域外出荷の対比				他県産シェア (上位3県)	北陸管内から各地域出荷事例	注目ポイント	
	全国市場での 取扱数量	北陸域内(4 県)からの出 荷数量	シェア	北陸域内市場で の取扱数量	北陸域内(4 県)からの入 荷数量	シェア	域外からの入 荷数量				シェア
(施設園芸系)											
トマト	325,014	2,998	1%	7,414	1,932	26%	5,482	74%	①岐阜県(1,686ト/23%) ②熊本県(1,498ト/20%) ③愛知県(1,259ト/17%)	石川県(1,784ト)→①北陸(1,011ト/57%),②近畿(663ト/37%) 新潟県(539ト)→①北陸(519ト/96%),②関東(11ト/2%)	域内出荷率が高い。一部県では近畿への販売力が強い。
単価(Kg/円)		343		反収(Kg/10a)	6,190						
ミニトマト	112,542	615	1%	2,303	316	14%	1,987	86%	①愛知県(778ト/34%) ②熊本県(532ト/23%) ③宮崎県(233ト/10%)	新潟県(500ト)→①北陸(253ト/51%),②関東(186ト/37%)	域内が中心。
単価(Kg/円)		626		反収(Kg/10a)	5,880						
ほうれんそう	77,731	400	1%	2,448	373	15%	2,075	85%	①群馬県(642ト/26%) ②岐阜県(348ト/14%) ③福岡県(327ト/13%)	新潟県(120ト)→①北陸(108ト/91%),②関東(12ト/9%) 福井県(109ト)→①北陸(94ト/86%),②近畿(15ト/14%)	ほとんどが域内出荷。
単価(Kg/円)		526		反収(Kg/10a)	1090						
きゅうり	345,733	2,392	1%	8,677	1,851	21%	6,826	79%	①高知県(2,835ト/33%) ②福島県(1,437ト/17%) ③群馬県(1,177ト/14%)	石川県(1,170ト)→①北陸(895ト/76%),②近畿(160ト/14%),③関東(70ト/6%) 新潟県(972ト)→①北陸(747ト/77%),②近畿(117ト/12%),③関東(108ト/11%)	ほとんどが域内出荷。
単価(Kg/円)		310		反収(Kg/10a)	5,340						

(出典) 令和2年産野菜生産出荷統計、令和3年青果物卸売市場調査報告

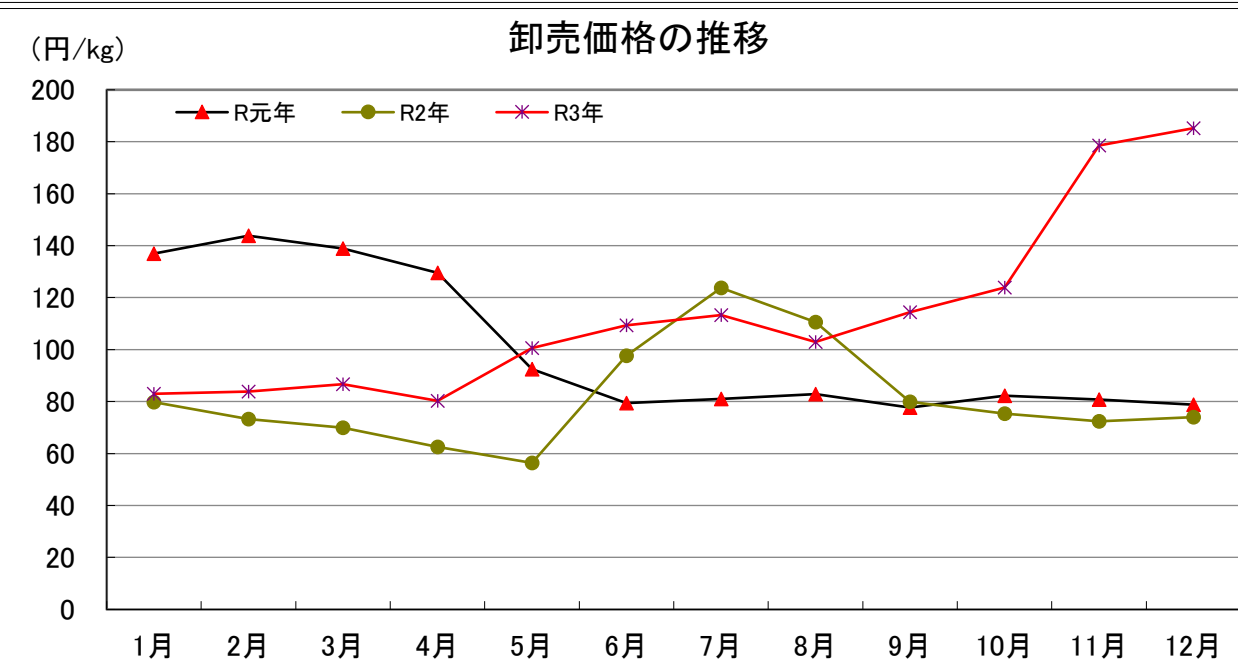
# たまねぎの動向

○年により差があるものの、3月から5月にかけて、入荷量が多くなっている。

○令和3年は、主産地の北海道産が干ばつの影響等により、秋以降の入荷量が減少し、卸売価格が高騰した。



全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
867千トン	20.1千トン	8%	92%



資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

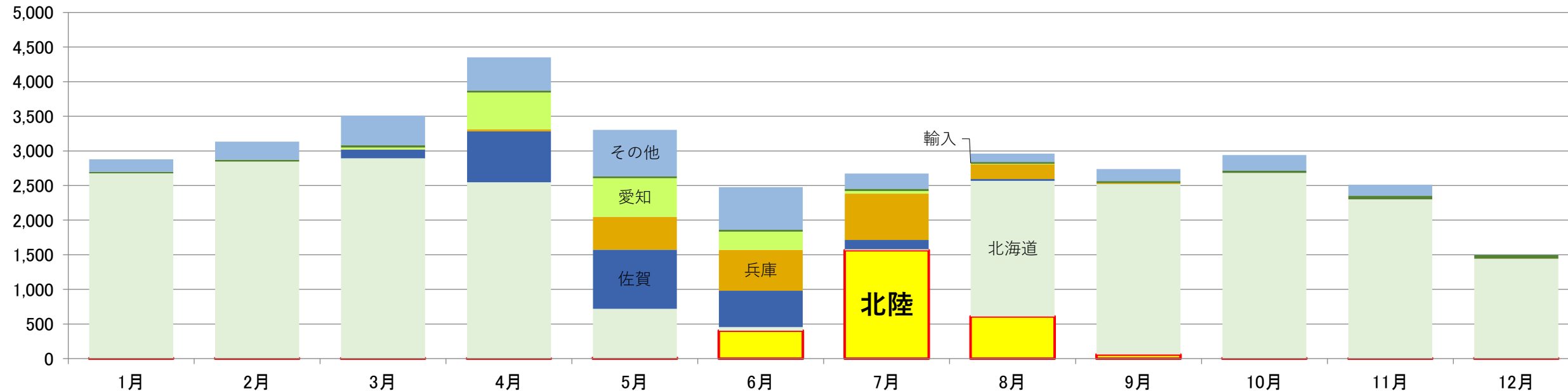
○入荷量は、北海道産が約7割以上を占めている。また、北陸地域からのたまねぎの供給比率は8%となっている。

○富山産は、関東、東海、北陸地域へそれぞれ約3割ずつ出荷され、新潟産は4分の3を北陸地域に出荷している。

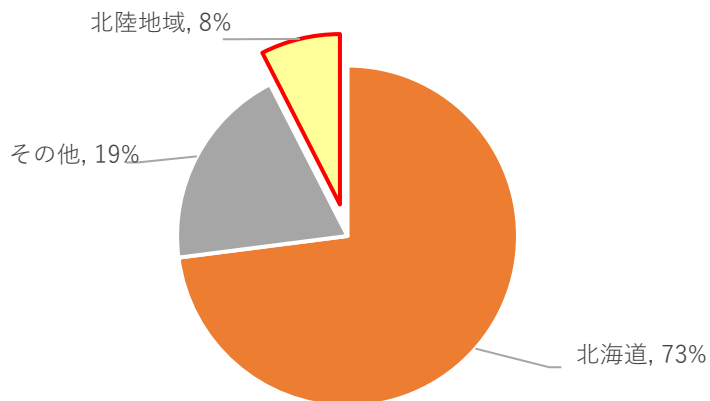
(トン)

月別・産地別入荷動向(令和3年)

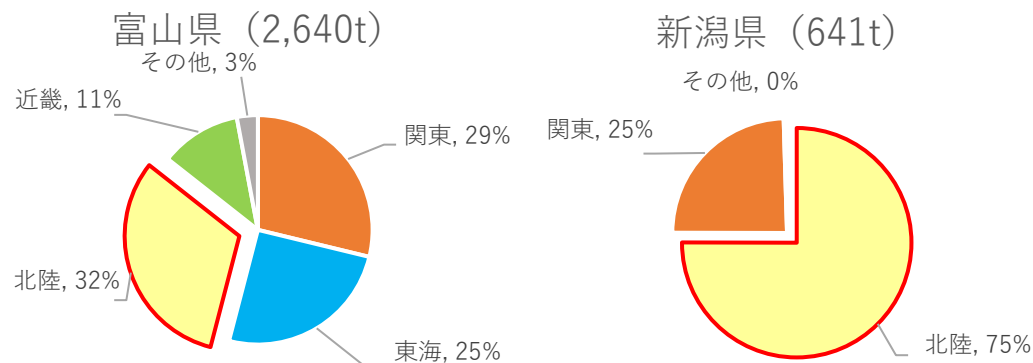
資料: 指定野菜の入荷量と価格



産地別取扱割合



主要消費地域への出荷量

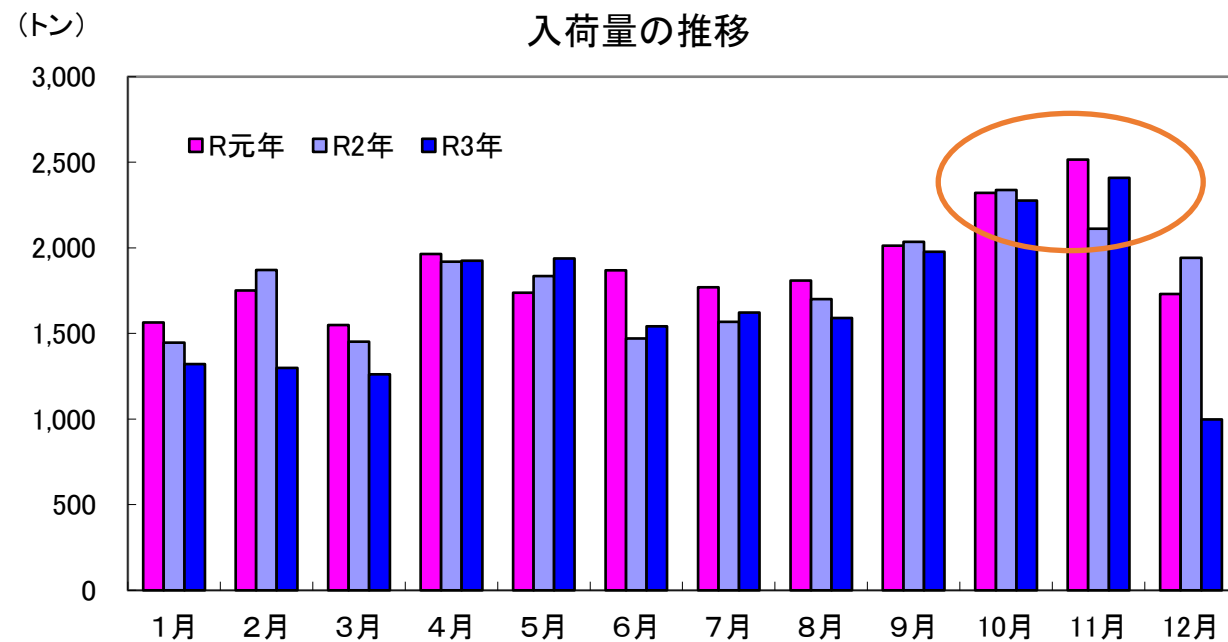


資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告

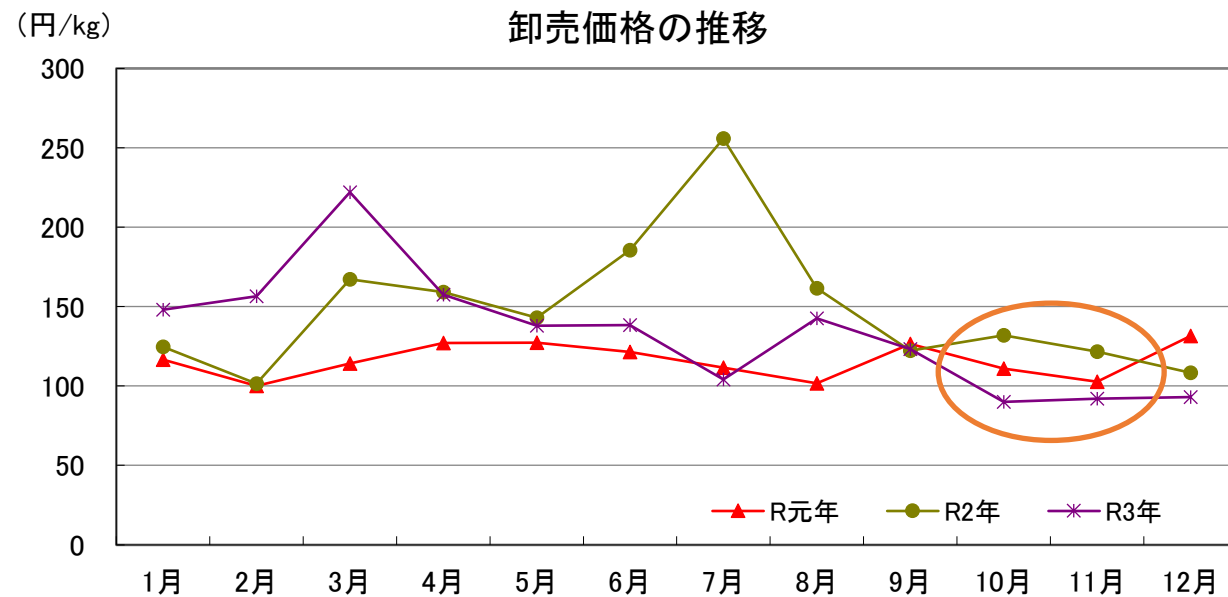
# にんじんの動向

〇年により差があるものの、入荷量は10月から11月にかけて多くなり、卸売価格は安値となっている。

入荷量の推移



卸売価格の推移

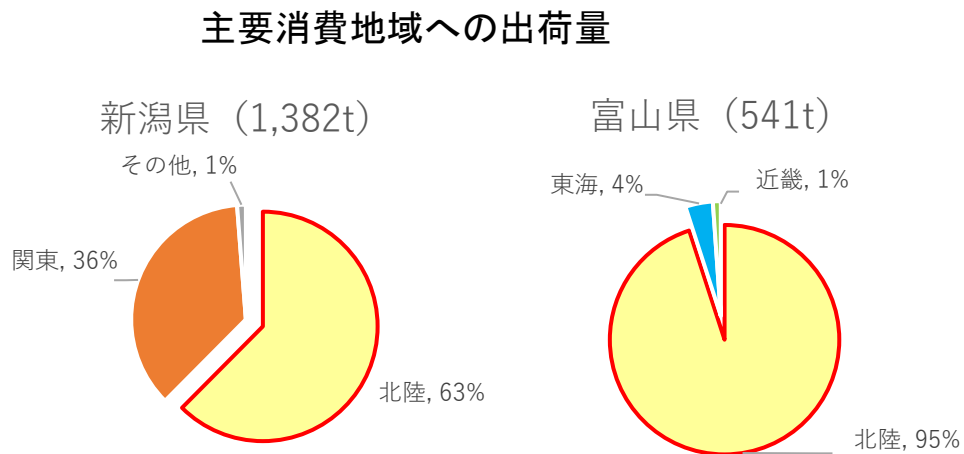
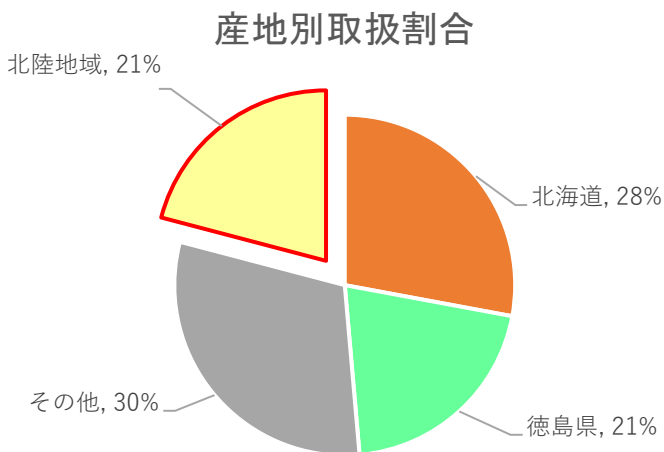
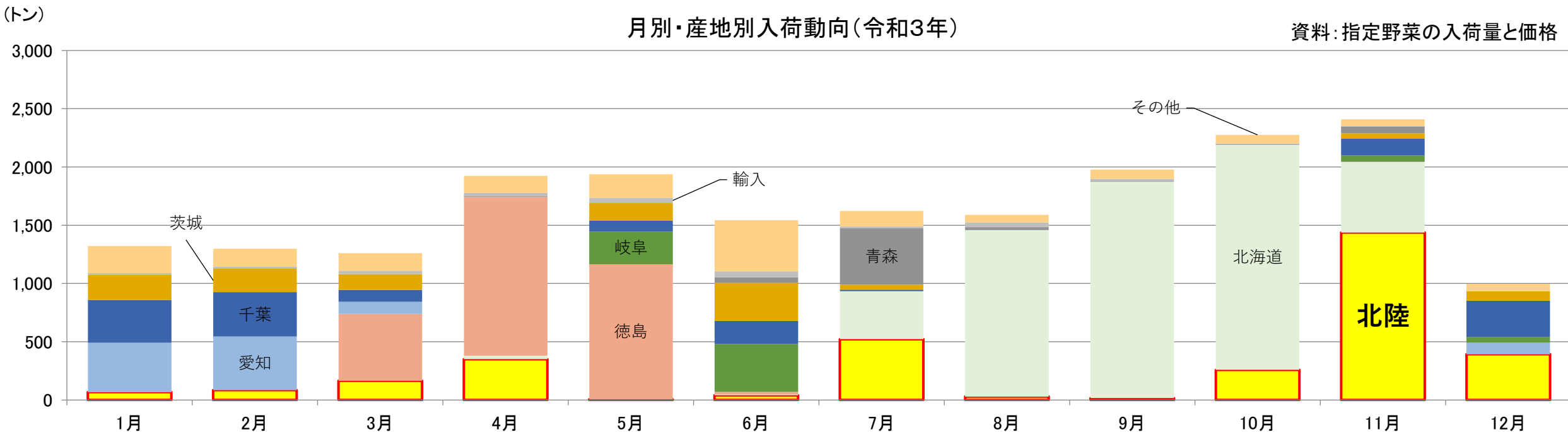


全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
431千トン	9.4千トン	21%	79%

資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

○入荷量は、北海道産が3割弱、徳島産が約2割を占める。また、北陸地域からのにんじんの供給比率は21%となっている。

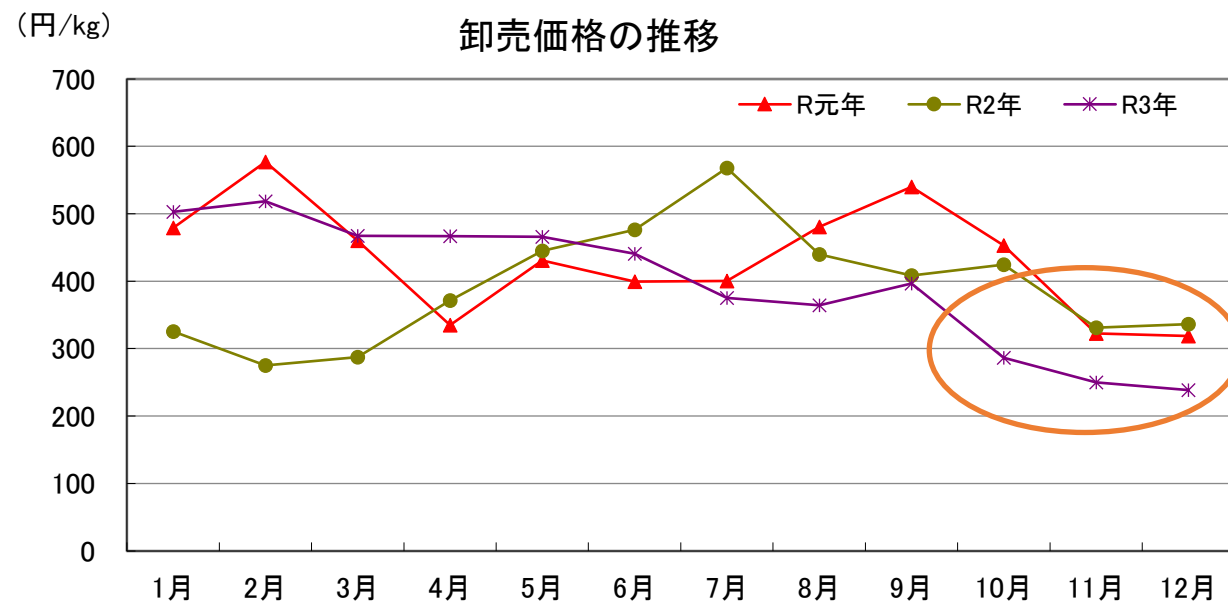
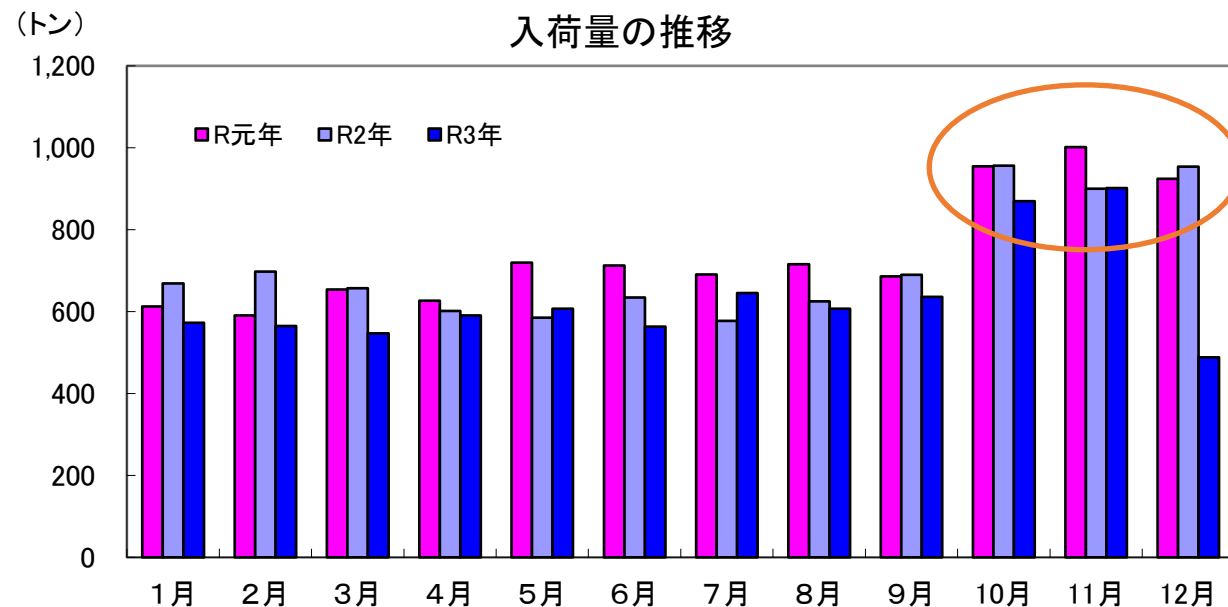
○新潟産は、6割以上を北陸地域、4割を関東地域に出荷。富山産は9割以上を北陸地域に出荷している。



資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告

# ねぎの動向

〇年により差があるものの、入荷量は10~12月にかけて多くなり、卸売価格は安値となっている。



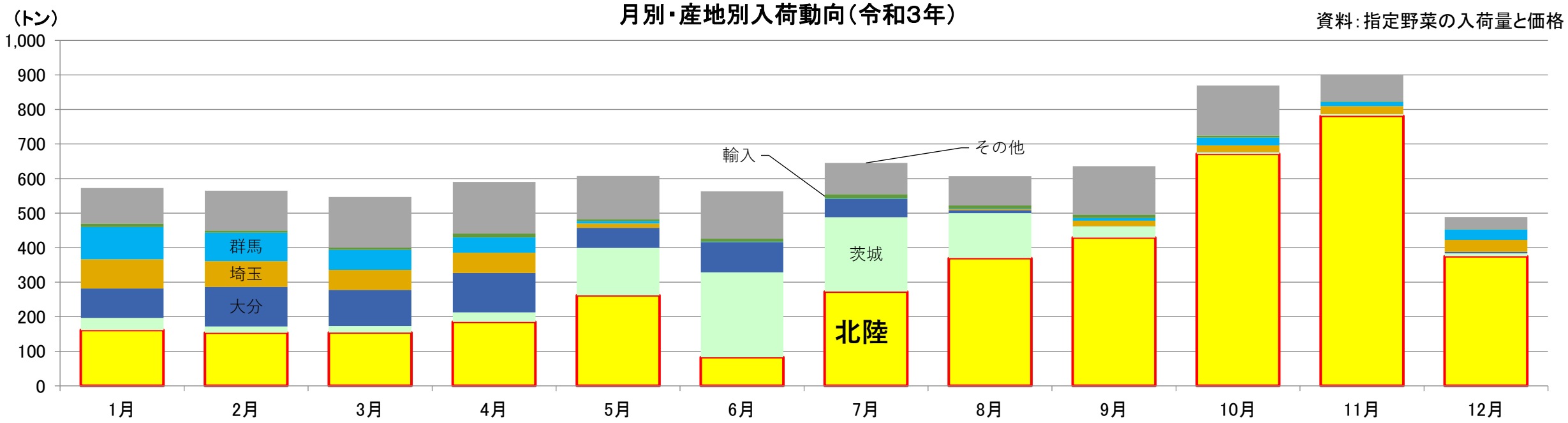
全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
180千トン	3.5千トン	49%	51%

資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

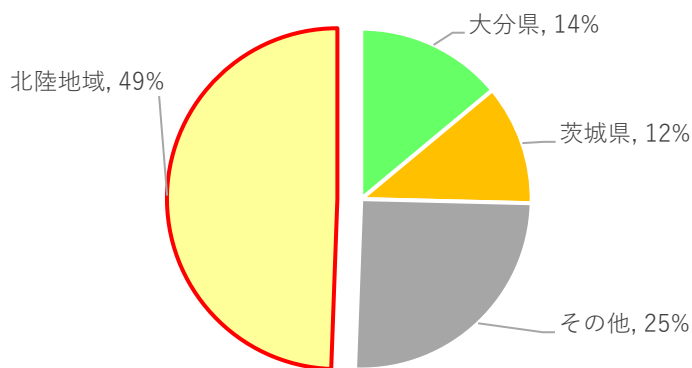


○入荷量は、北陸産が5割を占める。

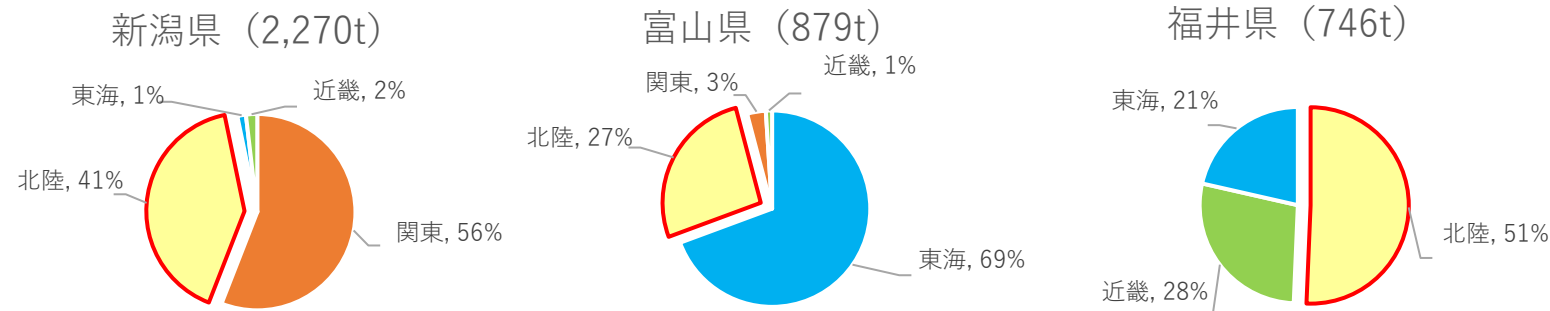
○新潟産は、5割以上を関東地域、富山産は5割以上を北陸地域で消費されている。



産地別取扱割合



主要消費地域への出荷量



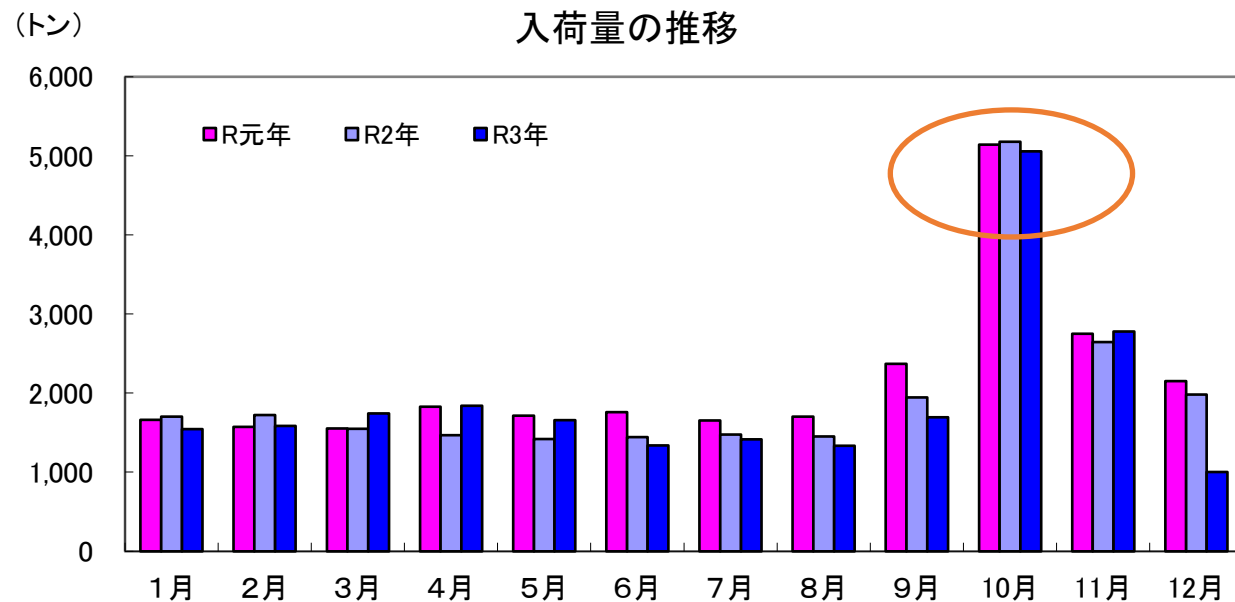
資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告

# だいこんの動向

○年により差があるものの、10月の入荷量が多く、その8割強が北陸産となっている。

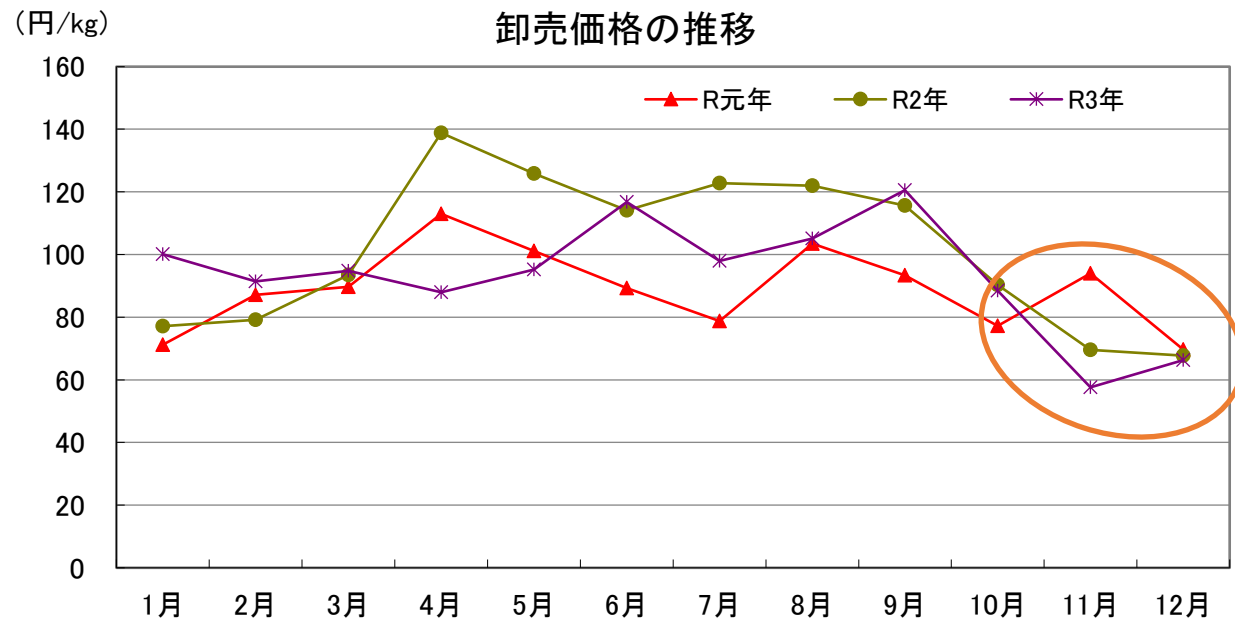
○卸売価格は、10月から12月にかけて安値となる傾向が見られる。

入荷量の推移



全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
580千トン	11.1千トン	36%	64%

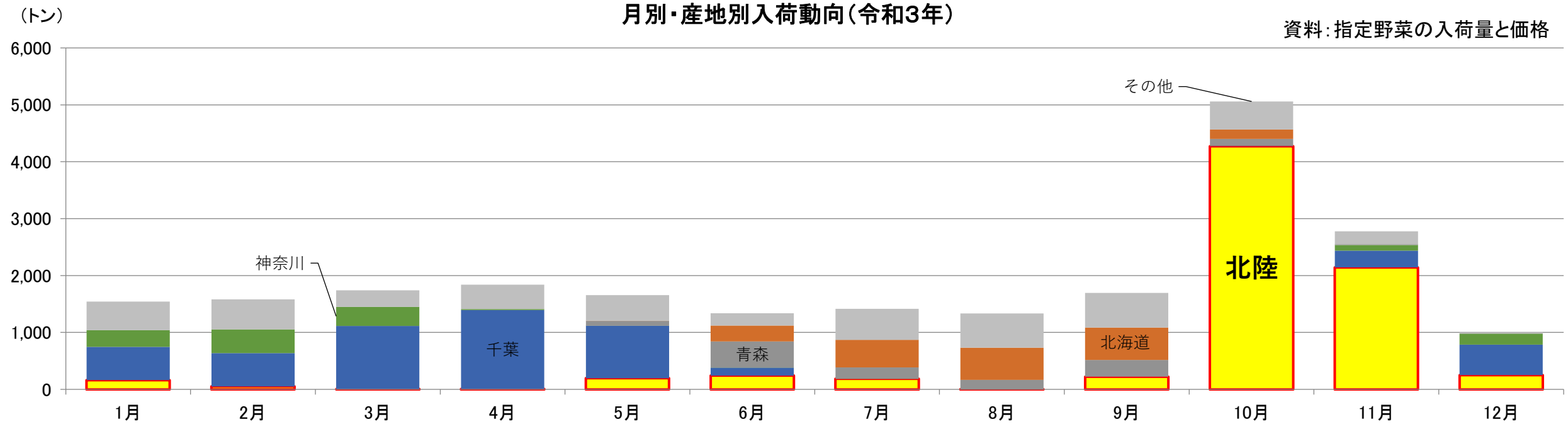
卸売価格の推移



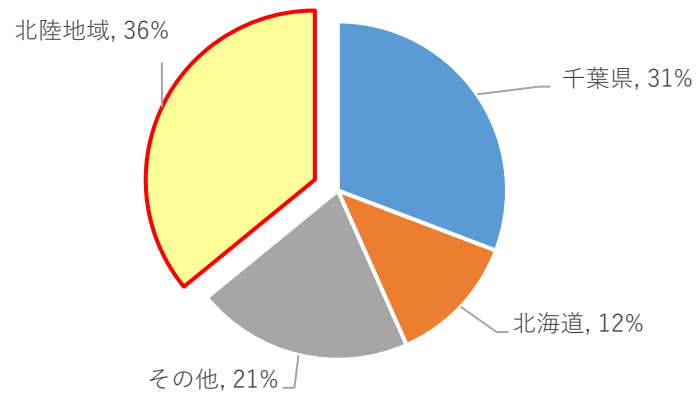
資料：指定野菜の入荷量と価格（北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。）

○入荷量は、千葉県が3割、北海道産が1割を占め、北陸地域からの供給比率は3割強となっている。

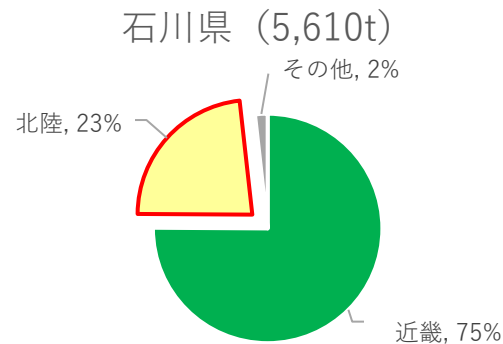
○石川産は、4分の3を近畿地域へ出荷し、新潟産は北陸地域に5割、近畿地域へ3割弱が出荷されている。



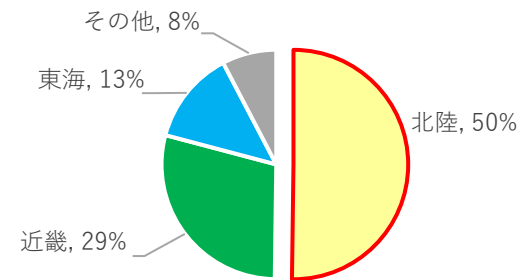
産地別取扱割合



主要消費地域への出荷量



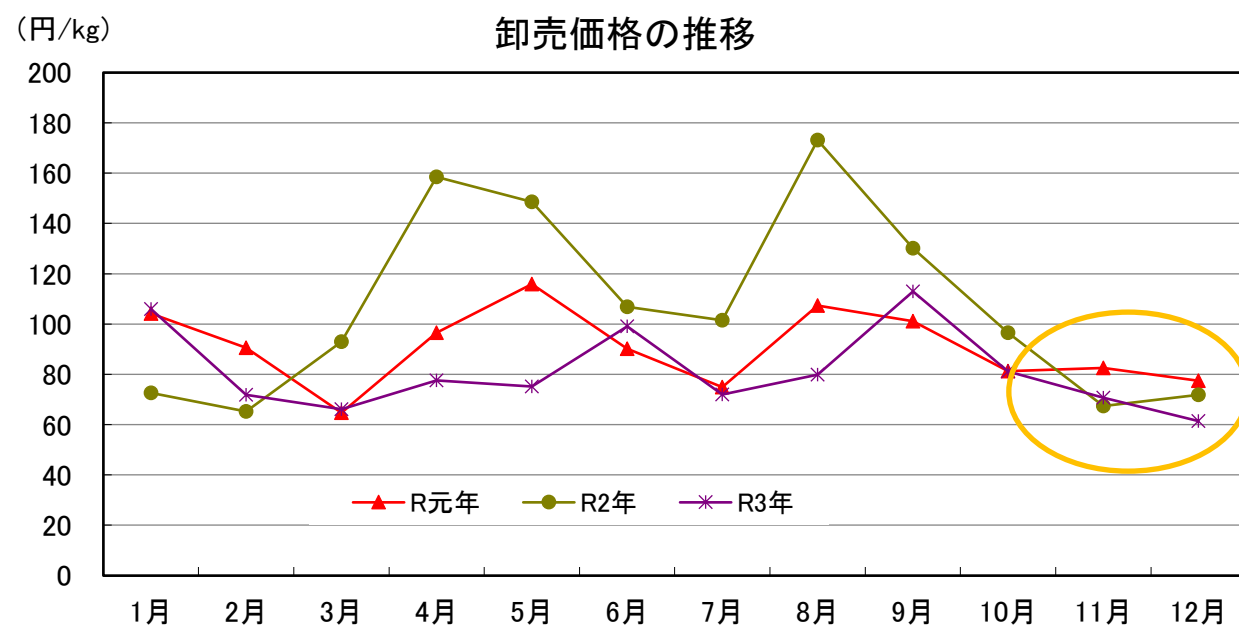
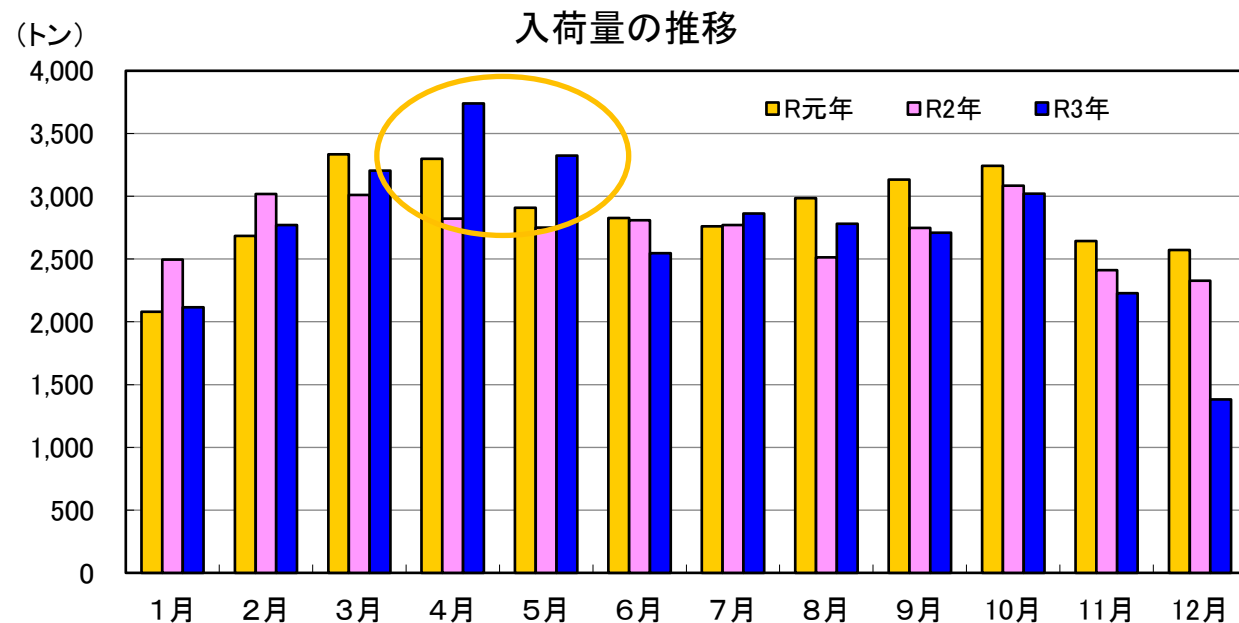
新潟県 (3,314t)



資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告

# キャベツの動向

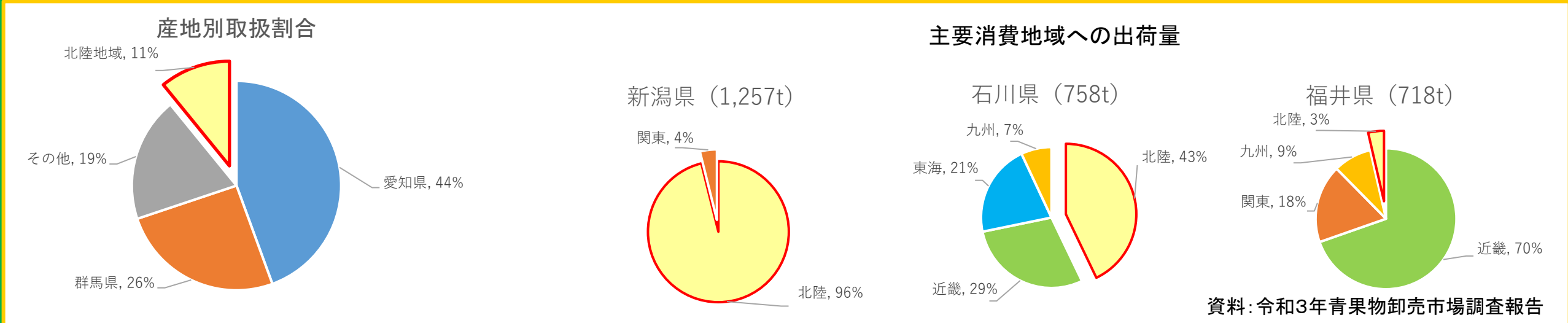
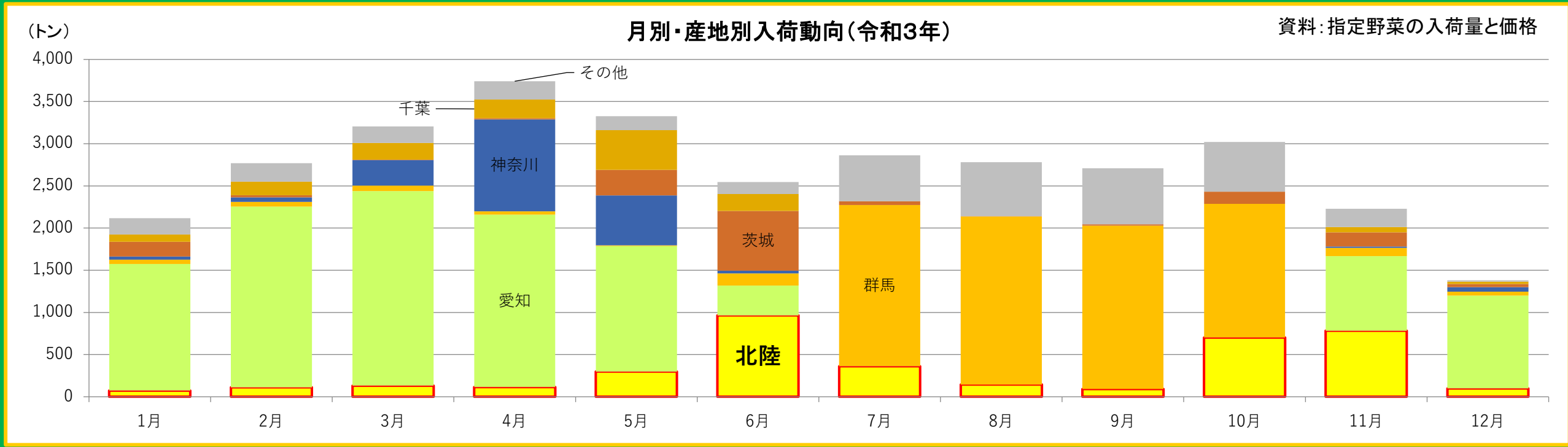
〇年により差があるものの、入荷量は4月から5月にかけて多くなり、卸売価格は、11月から12月にかけて、80円/kgを下回る傾向が見られる。



全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
938千トン	17.1千トン	11%	89%

○入荷量は、愛知産が全体の44%、次いで群馬産が26%で、その2県で7割を占める。

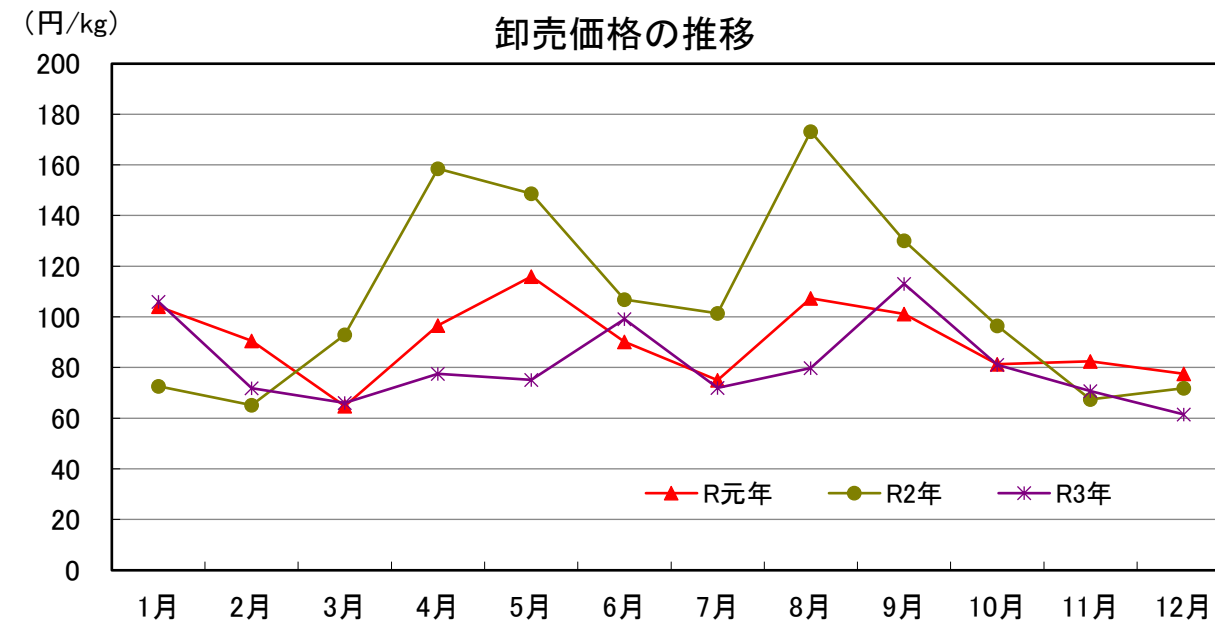
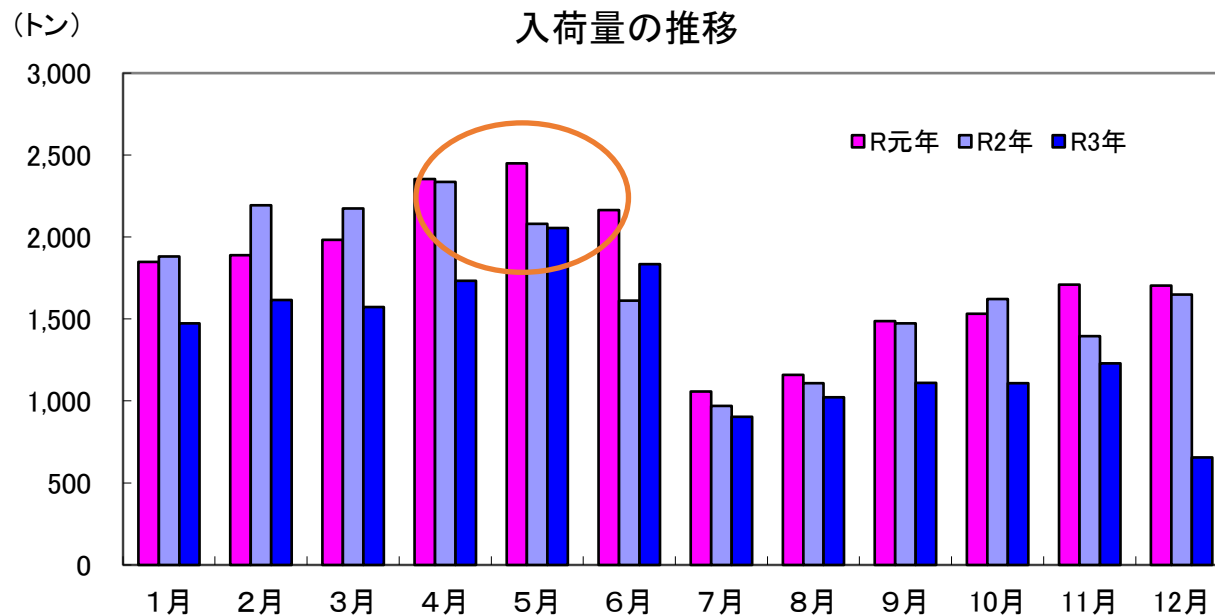
○北陸管内からのキャベツの供給比率は11%となっている。新潟産は大半が北陸地域に出荷されるが、福井産は7割が近畿地域へ出荷される。



# ばれいしょの動向

○年により差があるものの、4月から5月にかけて入荷量が多くなる傾向が見られる。

○令和2年は、長崎、鹿児島産の降雨等による生育不良等の影響により、卸売価格が高騰した。

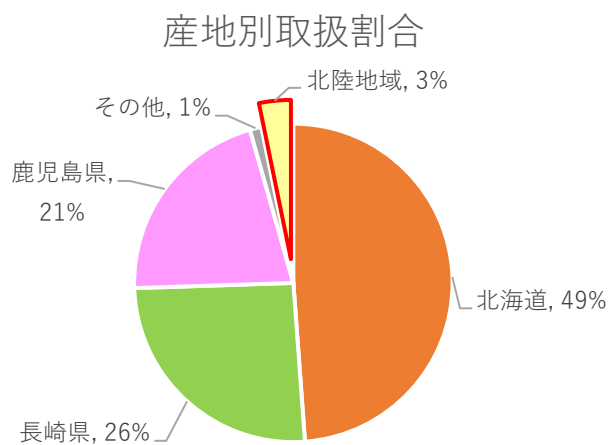
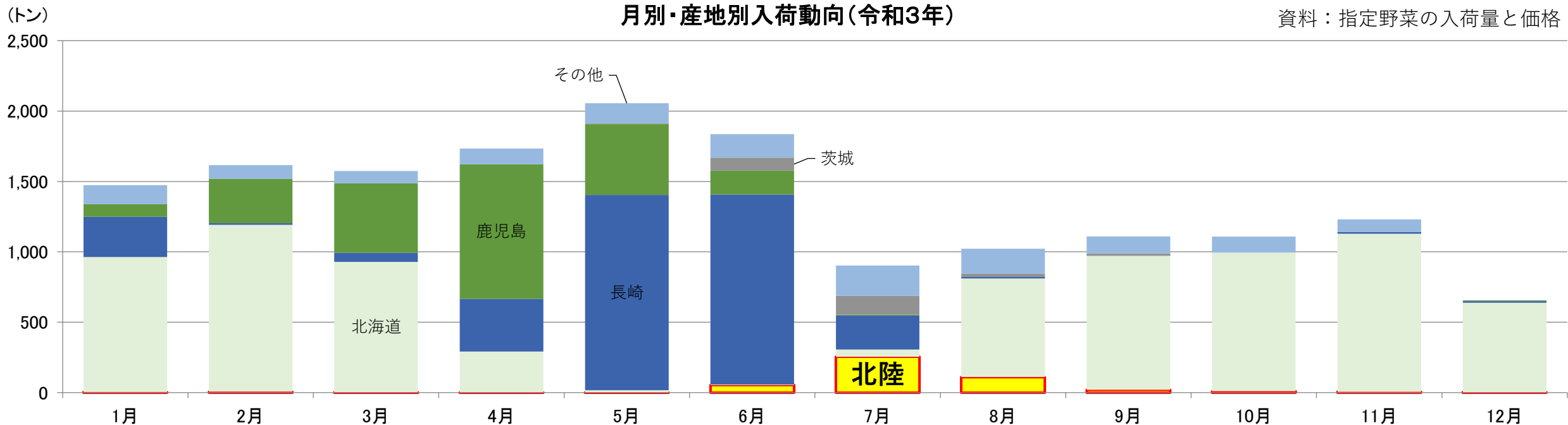


全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
390千トン	8.5千トン	3%	97%

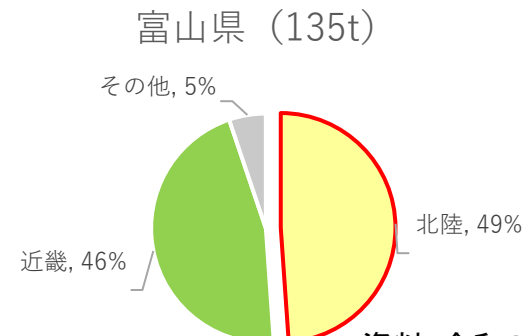
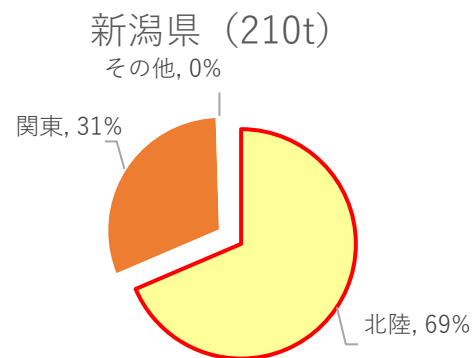
資料：指定野菜の入荷量と価格（北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。）

○入荷量は、北海道産が6割、長崎、鹿児島九州産で約4割を占める。また、北陸地域からのばれいしょの供給比率は3%となっている。

○新潟産は、約7割を北陸地域、3割が関東地域へ出荷されている。また、富山産は、北陸、近畿地域へ約5割ずつ出荷されている。



### 主要消費地域への出荷量

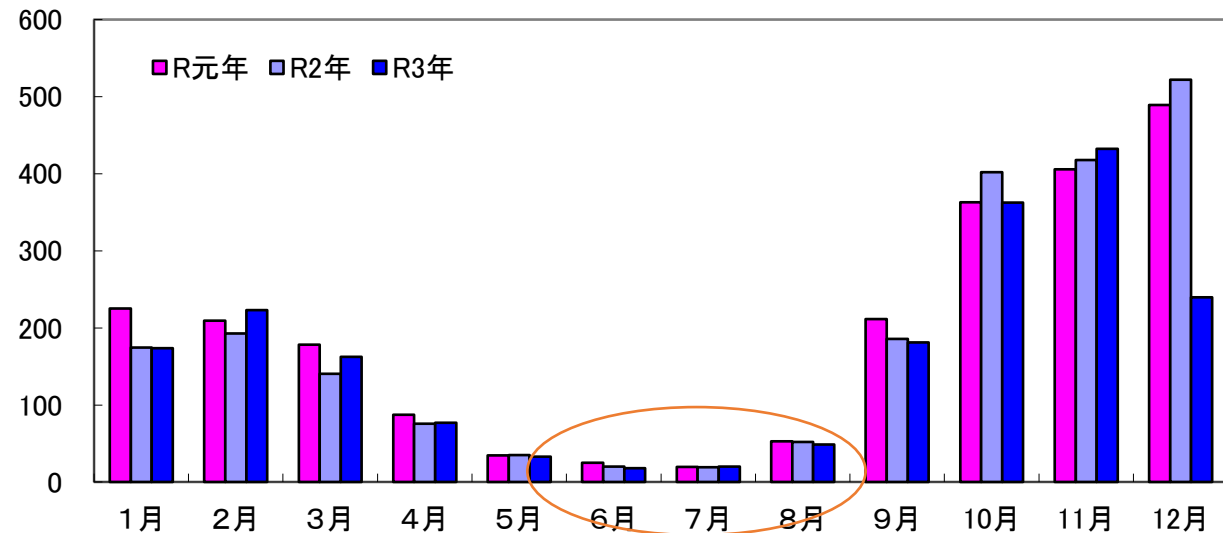


資料：令和3年青果物卸売市場調査報告

# さといもの動向

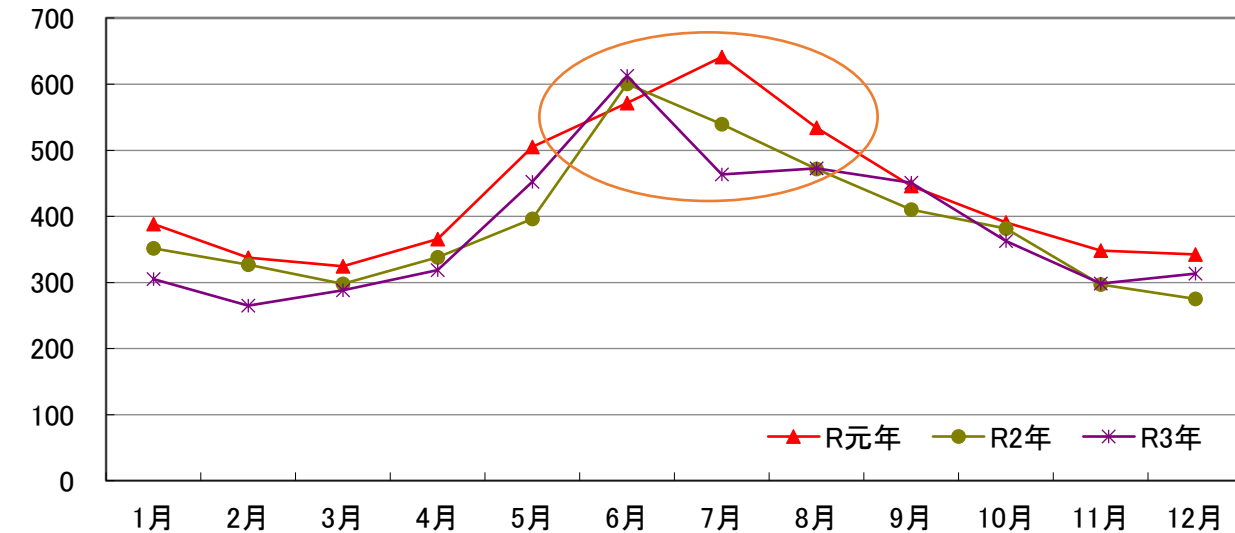
〇年により差があるものの、5月から8月にかけて、入荷量が少なくなり、卸売価格が上昇する傾向が見られる。

入荷量の推移



全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
31千トン	1.1千トン	87%	13%

卸売価格の推移



資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

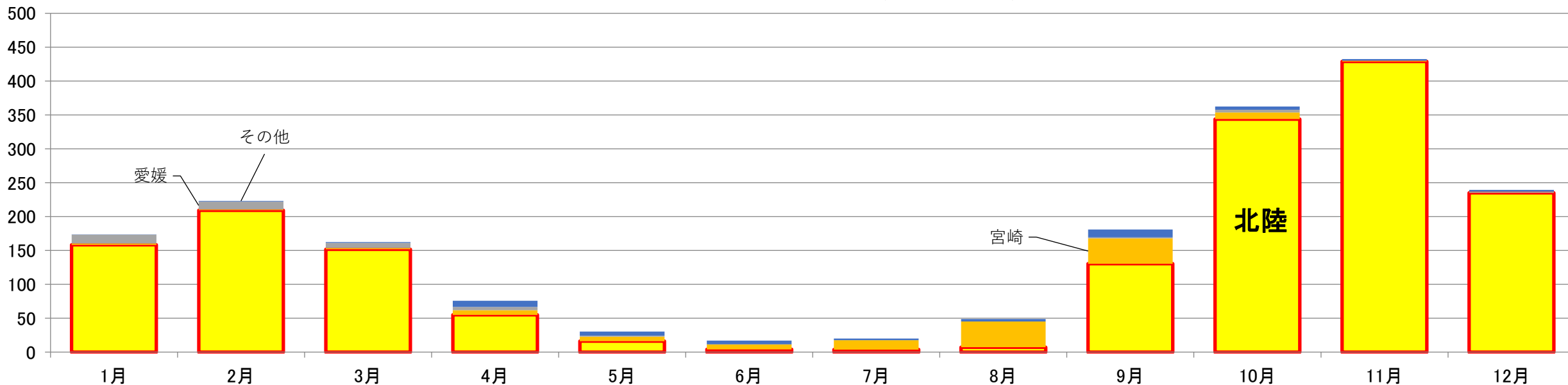


○入荷量は、北陸産が約9割を占める。

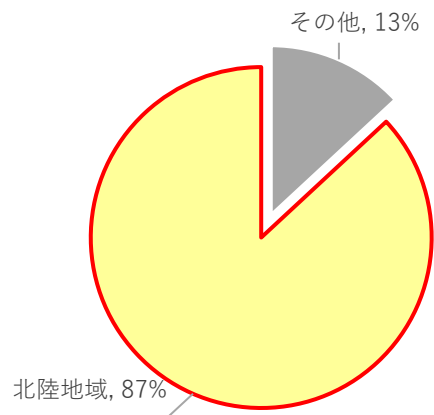
○新潟産は約4割、福井産は約5割が北陸地域で消費されている。

(トン) 月別・産地別入荷動向 (令和3年)

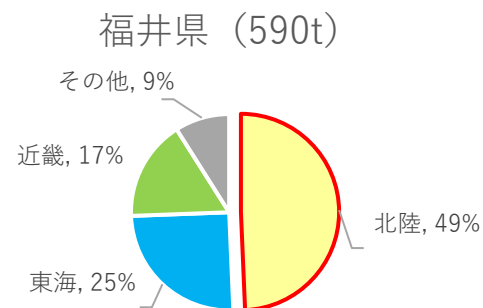
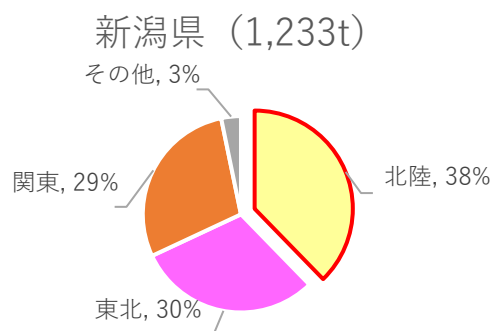
資料：指定野菜の入荷量と価格



産地別取扱割合



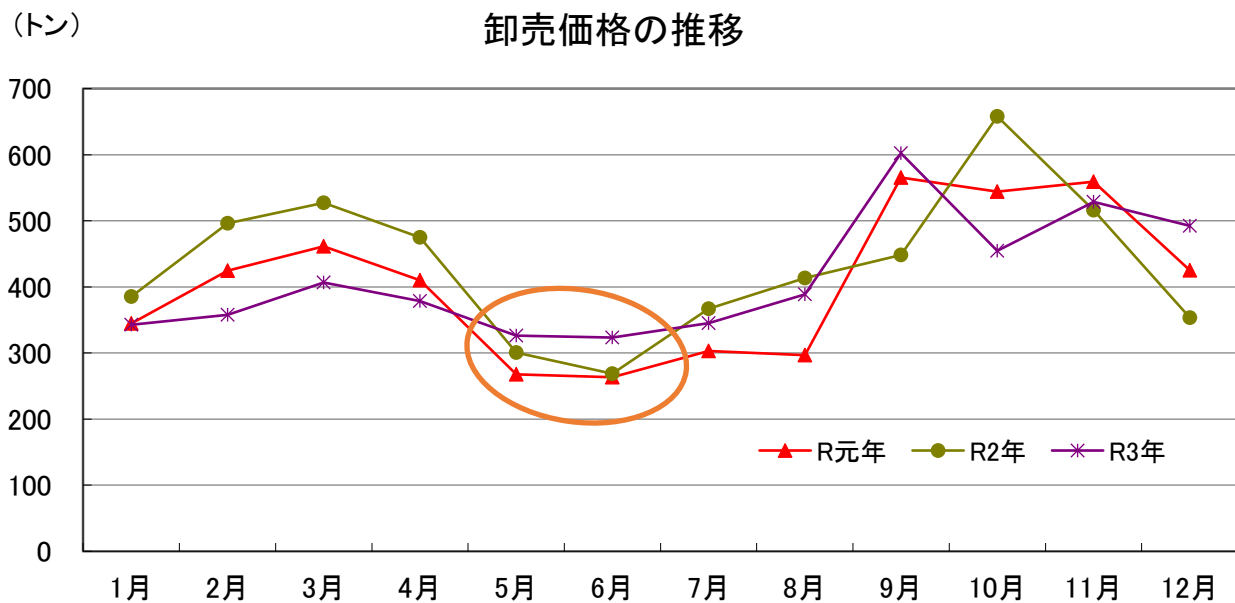
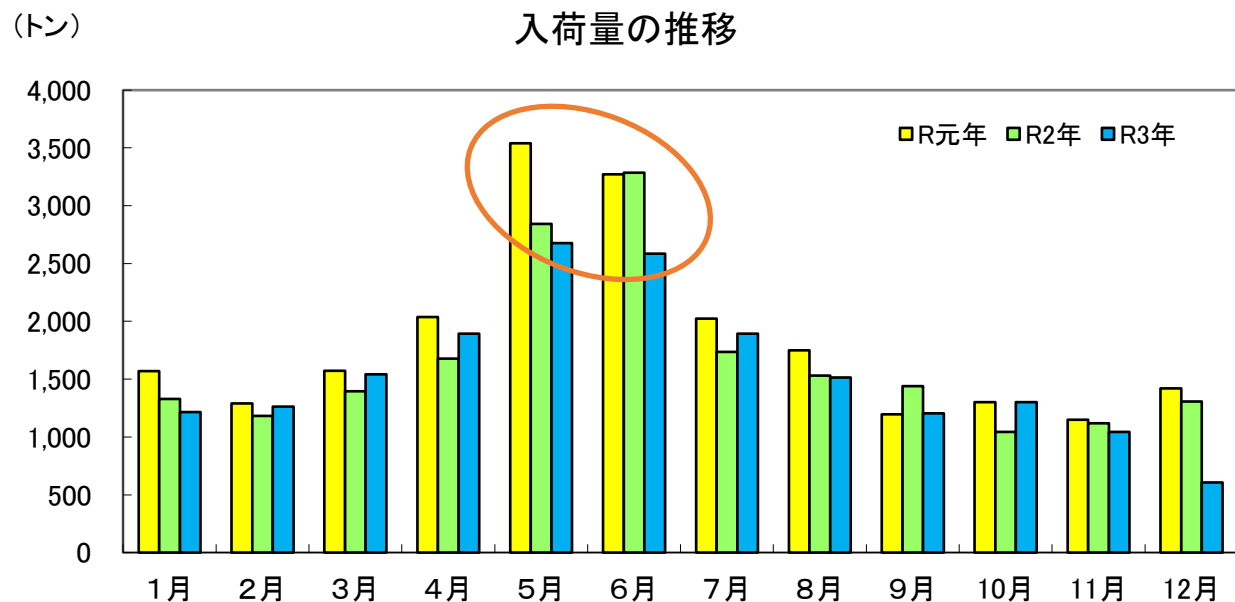
主要消費地域への出荷量



資料：令和3年青果物卸売市場調査報告

# トマトの動向

〇年により差があるものの、5月から6月にかけて入荷量が多くなり、卸売価格が低下する傾向が見られる。

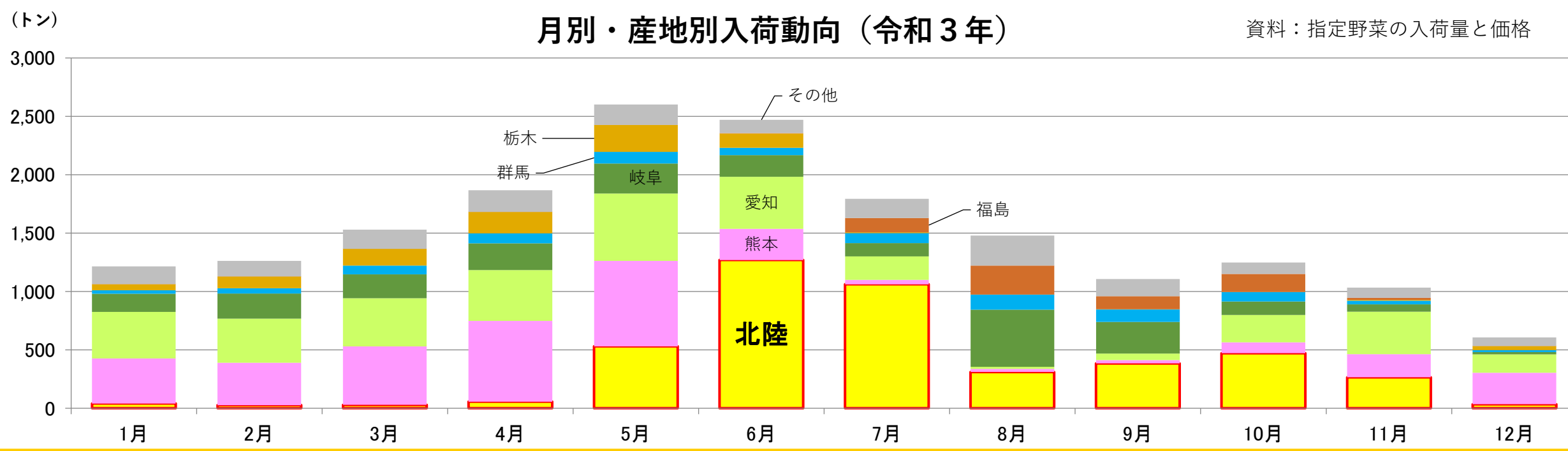


全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
325千トン	7.4千トン	26%	74%

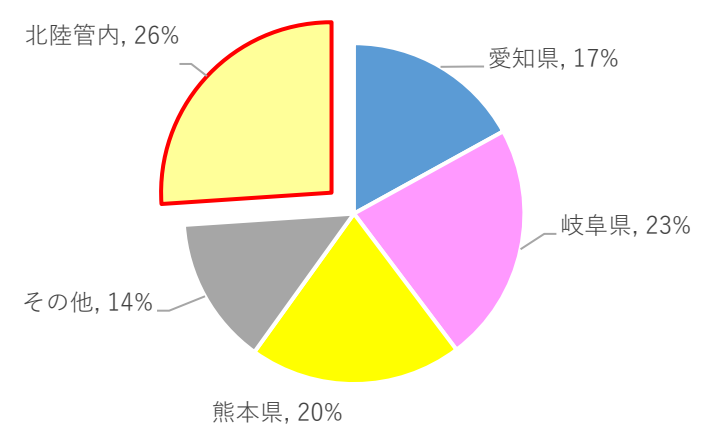
注：トマトにはミニトマトも含む

資料：指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

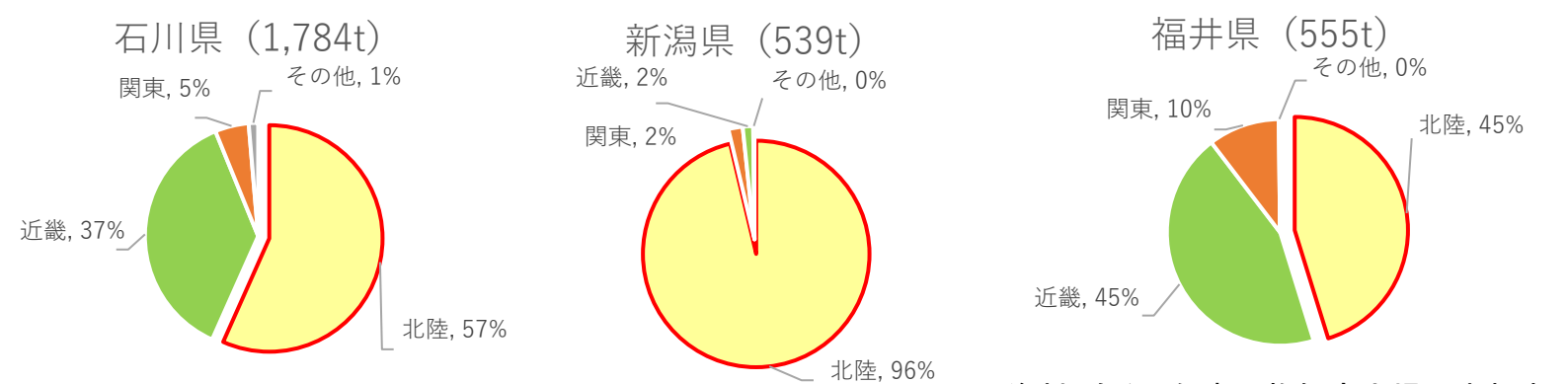
○入荷量は、愛知、岐阜、熊本の3県で約6割を占め、北陸地域からのトマトの供給比率は26%となっている。石川、新潟、福井の3県とも北陸地域に出荷する割合が高いが、石川、福井では近畿地域への出荷が約4割となっている。



産地別取扱割合



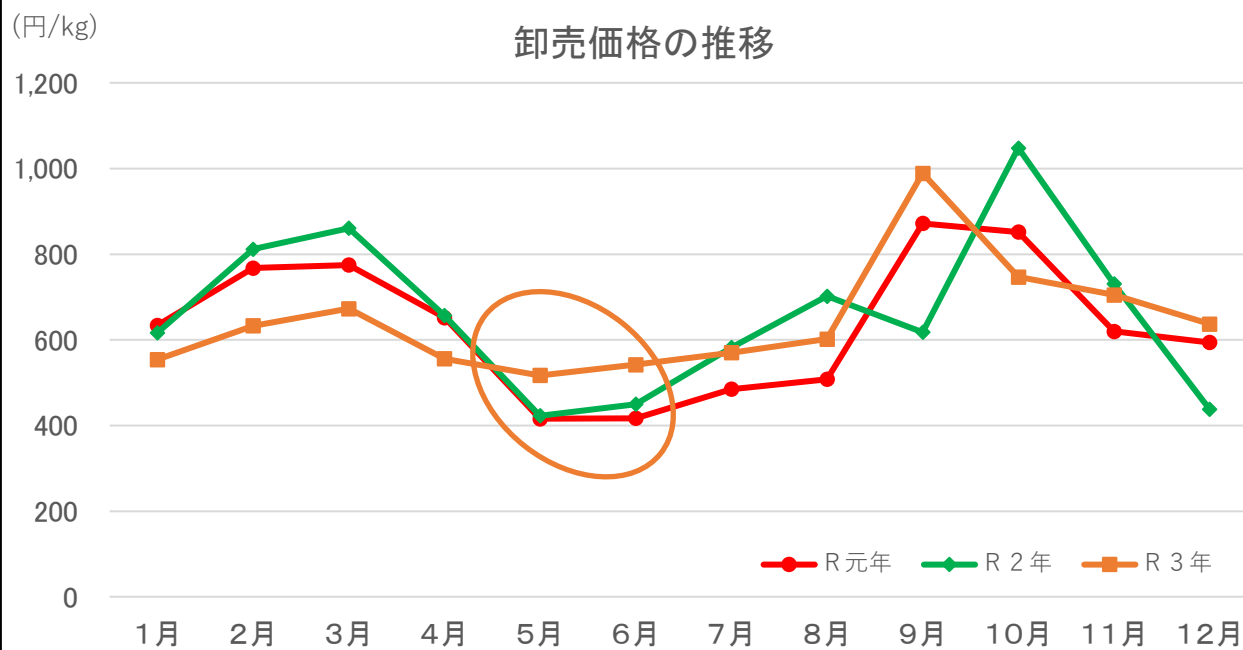
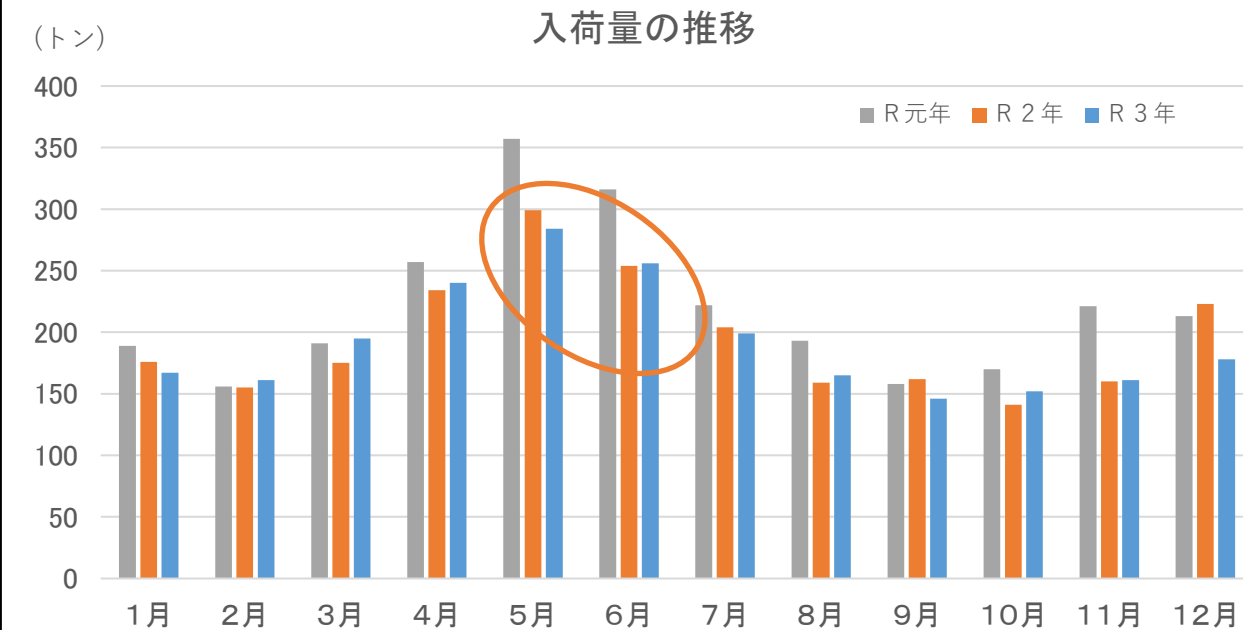
主要消費地域への出荷量



資料：令和3年青果物卸売市場調査報告

# ミニトマトの動向

〇年により差があるものの、5月から6月にかけて入荷量が多くなり、卸売価格が下落する傾向が見られる。



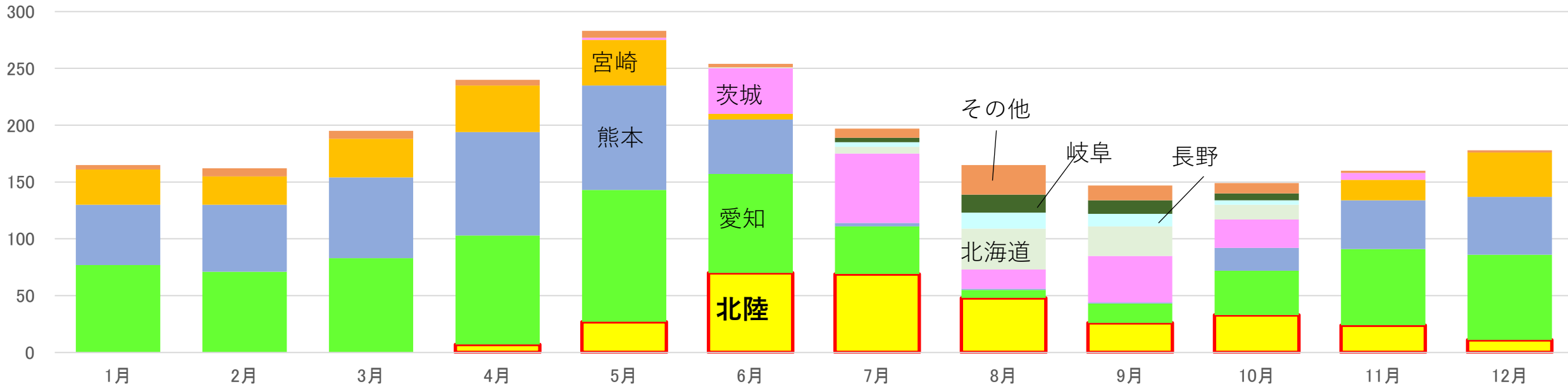
全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
113千トン	2.3千トン	14%	86%

○入荷量は、愛知産が34%、次いで熊本産が23%を占め、その2県で約6割を占めている。北陸地域からのミニトマトの供給比率は14%となっている。また、新潟産は5割以上、石川産は8割以上を北陸地域に出荷されるが、福井産は関東、近畿地域への出荷がされている。

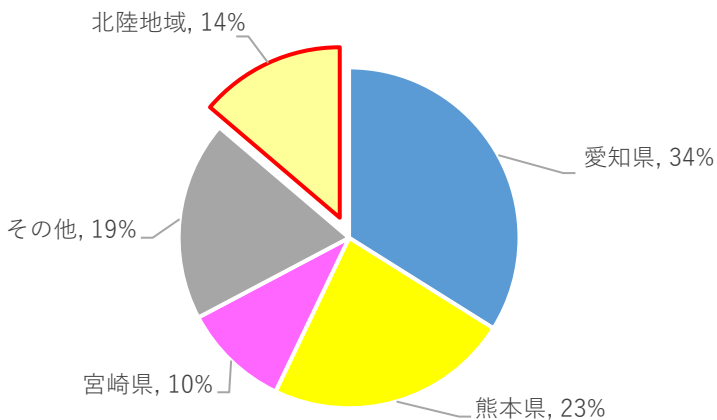
(トン)

月別・産地別入荷動向(令和3年)

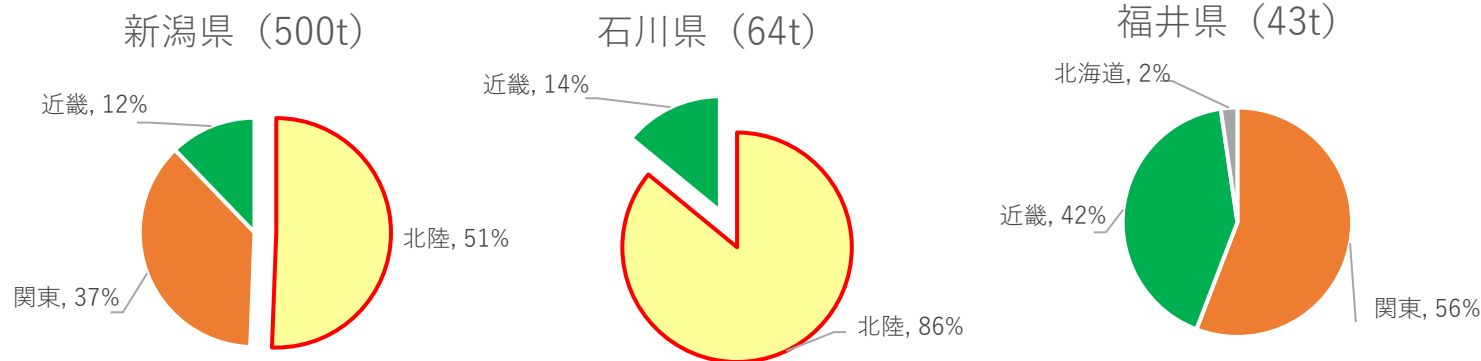
資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告



産地別取扱割合



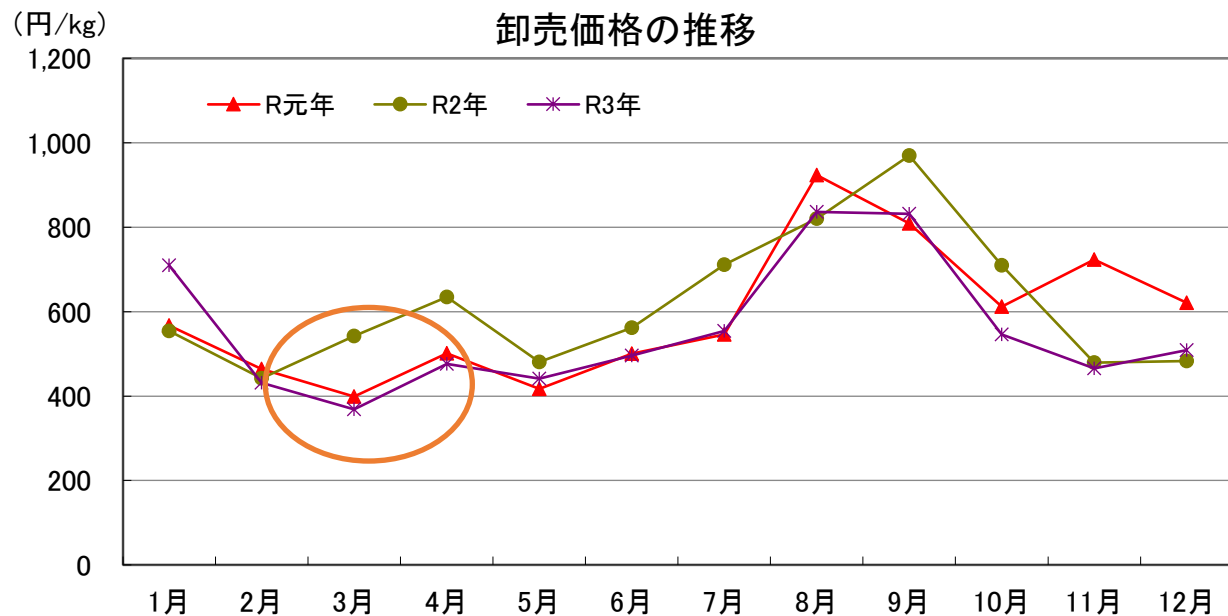
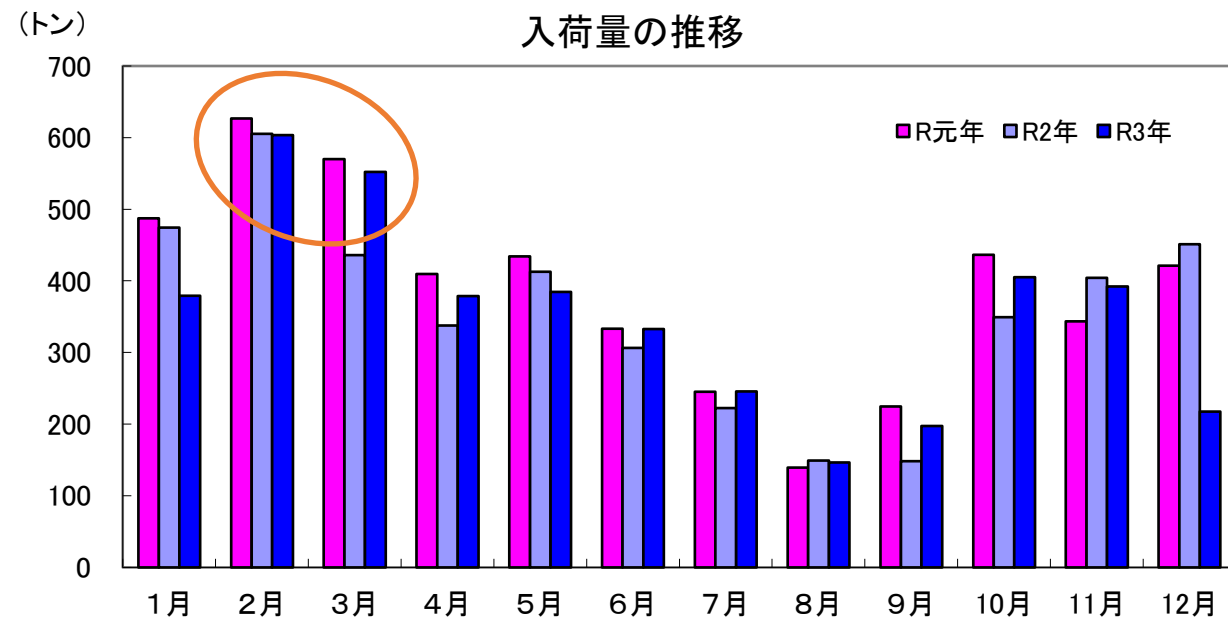
主要消費地域への出荷量



資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告

# ほうれんそうの動向

〇年により差があるものの、2月から3月にかけて入荷量が多くなり、卸売価格が下落する傾向が見られる。



全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
78千トン	2.4千トン	15%	85%

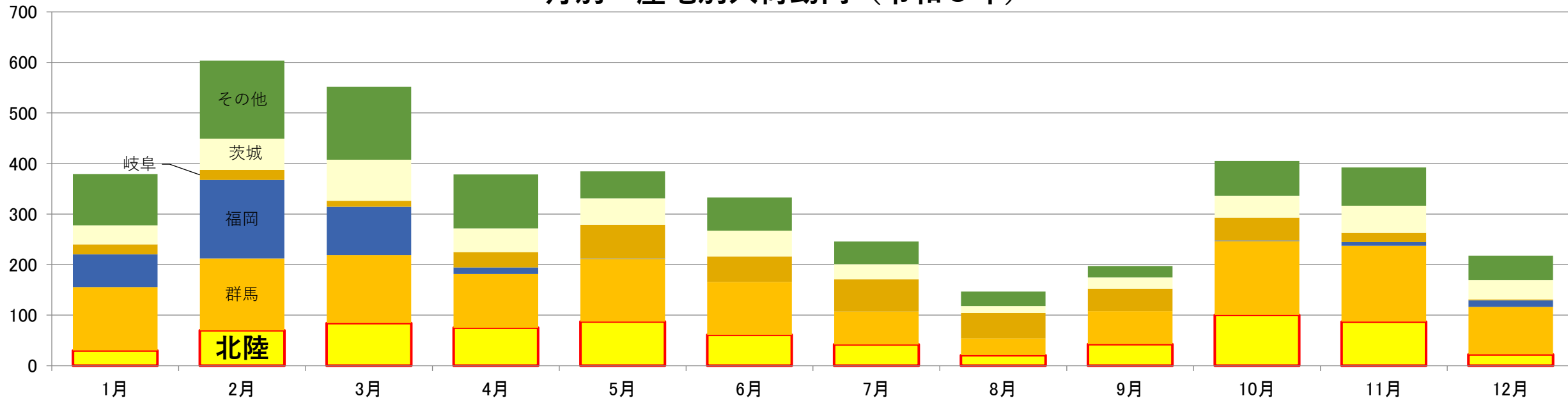
○入荷量は、群馬、静岡産の2県で4割強を占め、北陸管内からの供給比率は15%となっている。

○また、ほとんどが北陸地域内に出荷する割合が高いが、新潟、福井産は、約1割を関東地域へ出荷している。

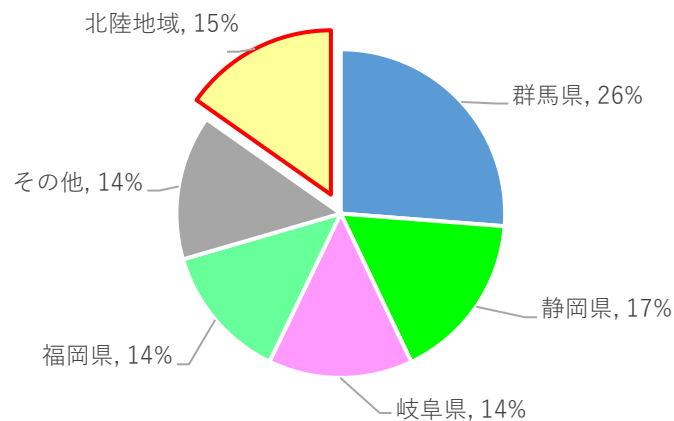
(トン)

### 月別・産地別入荷動向 (令和3年)

資料：指定野菜の入荷量と価格

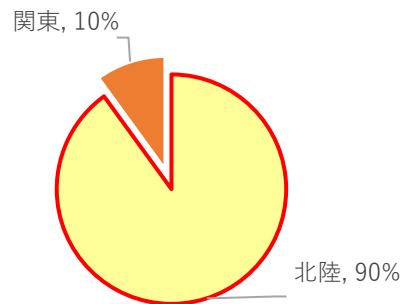


### 産地別取扱割合

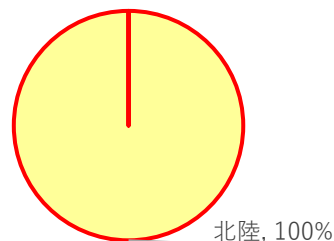


### 主要消費地域への出荷量

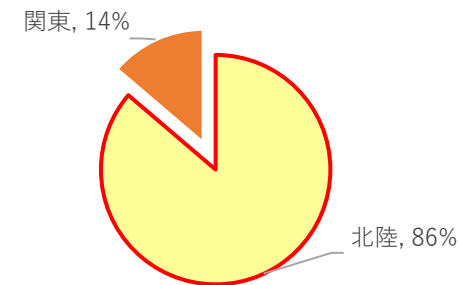
新潟県 (120t)



石川県 (140t)



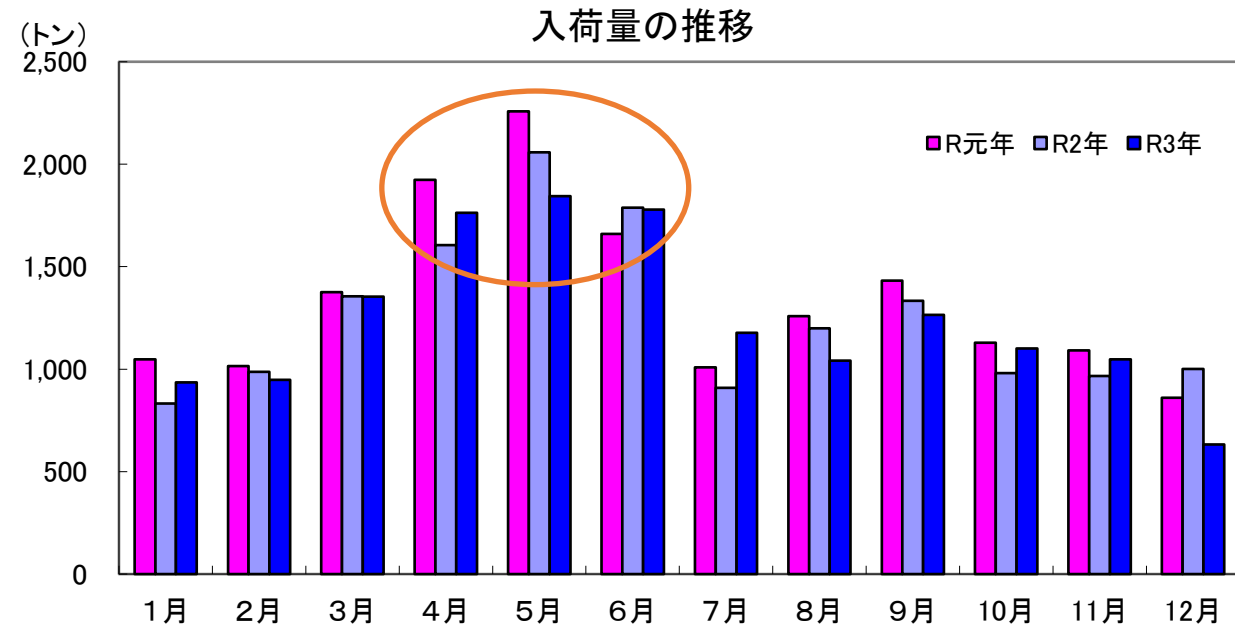
福井県 (109t)



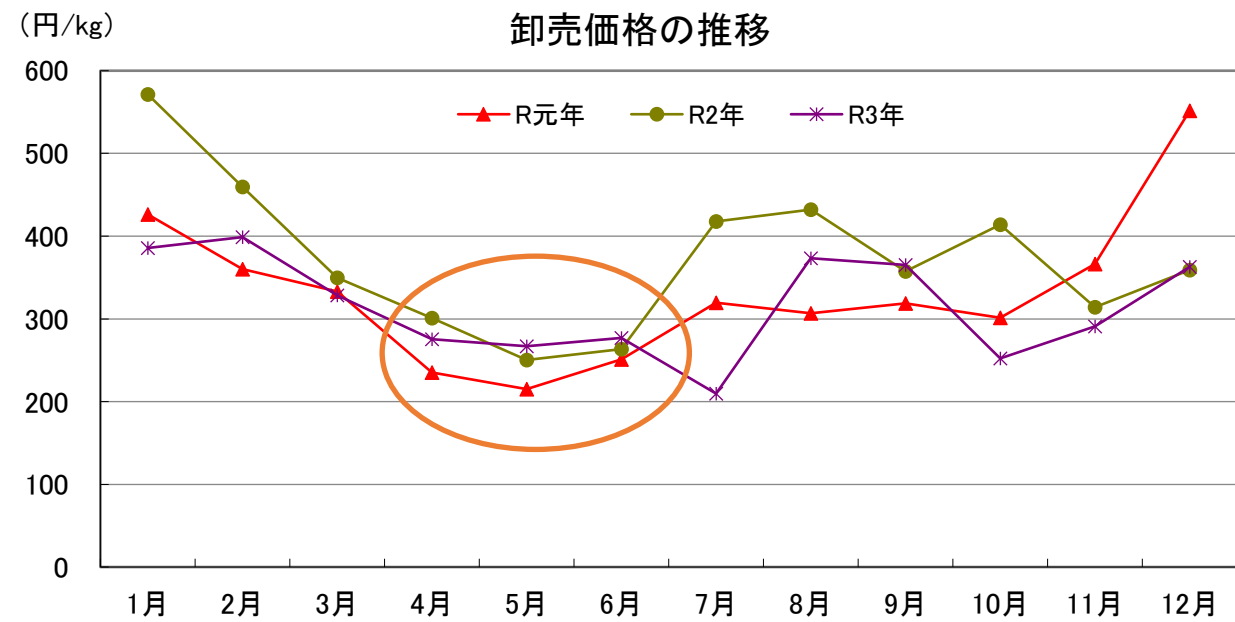
資料：令和3年青果物卸売市場調査報告

# きゅうりの動向

〇年により差があるものの、4月から6月にかけて入荷量が多くなり、卸売価格が下落する傾向が見られる。



全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
346千トン	8.7千トン	21%	79%



資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)



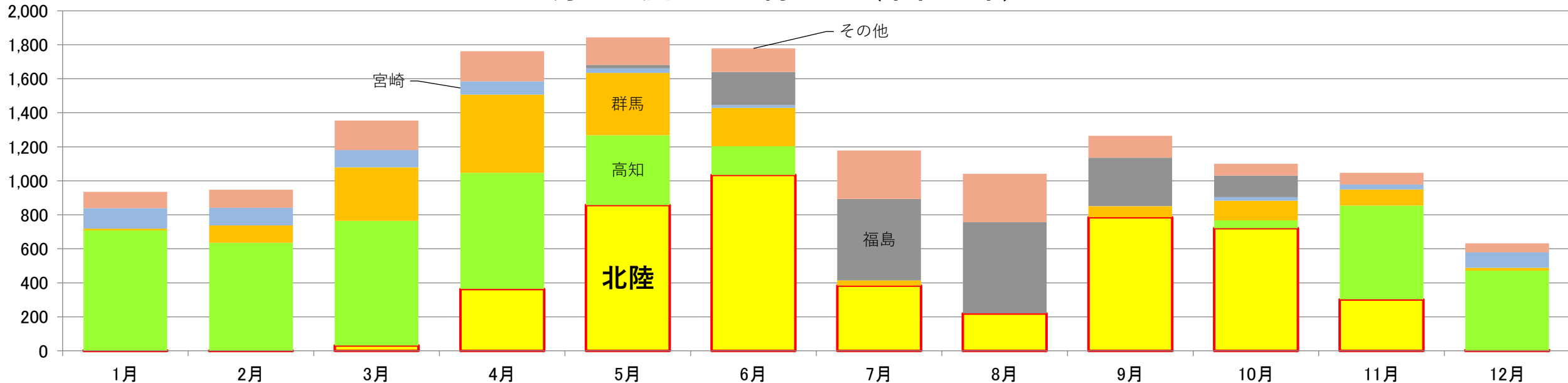
○入荷量は、高知産が全体の33%、次いで福島産が16%、群馬産が14%で、その3県で6割強を占める。

○北陸管内からのきゅうりの供給比率は21%となっている。石川、新潟産の4分の3以上は、北陸地域へ出荷されている。

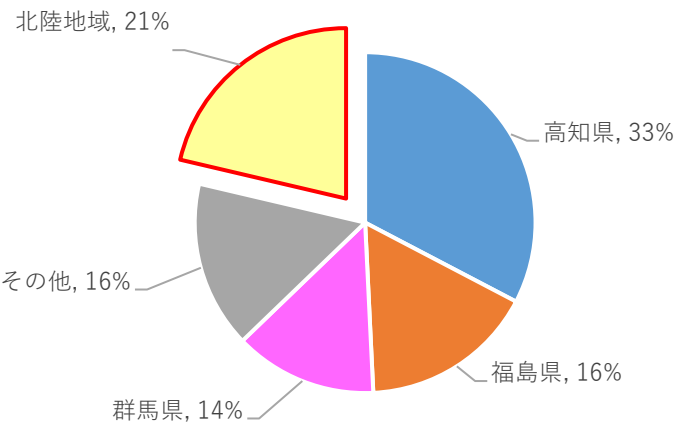
(トン)

### 月別・産地別入荷動向 (令和3年)

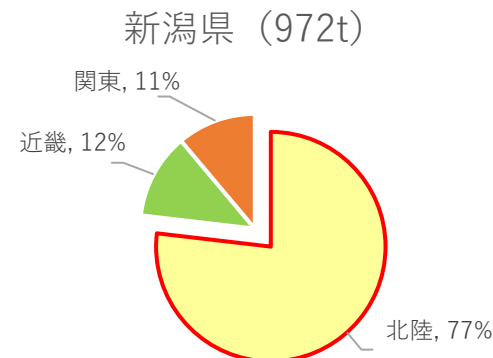
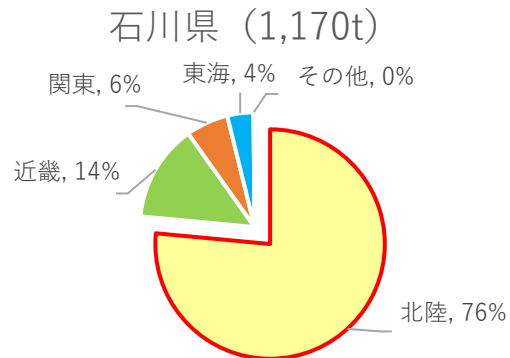
資料: 指定野菜の入荷量と価格



### 産地別取扱割合



### 主要消費地域への出荷量



資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告